

第9期恵那市高齢者福祉計画・ 介護保険事業計画策定のための 実態調査報告書

【概要版】

令和5年7月 恵那市

目次

I. 調査の概要.....	- 2 -
II. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果（一般高齢者、要支援者）.....	- 3 -
III. 在宅介護実態調査結果（要介護認定者）.....	- 21 -
IV. 介護サービス提供事業者実態調査結果.....	- 31 -
V. ケアマネジャー実態調査結果.....	- 34 -

実態調査報告書について

この実態調査報告書は、65歳以上の一般高齢者・要支援者、要介護認定を受けながら在宅生活している方及びその介護者、介護サービス提供事業者、介護支援専門員を対象に実施したアンケートの結果をまとめたものです。主な調査内容と目的は、「調査の実施概要」のとおりです。

この調査結果は、「第9期恵那市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」策定のための基礎資料として活用します。

I. 調査の概要

■ 調査の実施概要

	一般高齢者・要支援者	在宅介護認定者	介護サービス提供事業者	介護支援専門員
調査対象	要支援・要介護認定を受けていない 65 歳以上の人・要支援認定を受けている人及び事業対象者から無作為抽出	要支援・要介護認定を受けて居宅で生活している人から無作為抽出	市内の介護サービス提供事業者すべて	市内の居宅介護支援事業所及び介護予防支援事業所に所属している介護支援専門員すべて
配布・回収方法	郵送配布、郵送回収	郵送配布、郵送回収または認定調査員による聞き取り	WEB回答	
調査基準日	令和5年1月1日		令和5年2月1日	
調査期間	令和5年1月6日～令和5年1月23日	令和5年1月6日～令和5年1月23日	令和5年2月7日～令和5年2月28日	
配布数	2,000 件	663 件 (うち、63 件認定員調査)	108 件	88 件
回収数	1,392 件	388 件	60 件	66 件
回収率	69.6%	58.5%	55.6%	75.0%

■ 調査結果報告書の見方

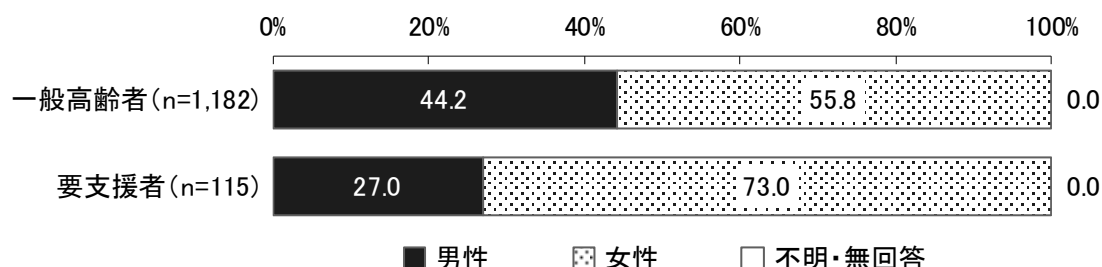
- ・グラフや表中の「n」とは、number of cases の略で、各設問に該当する回答者総数を表しています。
- ・グラフ中の「%」は、小数点第2位を四捨五入しているため、単数回答（1つだけに○）の設問であっても、合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（あてはまるものすべてに○をつけるもの等）は、「n」に対する各選択肢の回答者数の割合を示します。そのため、合計が100.0%となりません。
- ・グラフ中の選択肢は、一部必要に応じて省略しています。
- ・クロス集計結果の表側において、性別等基本属性の不明・無回答者が含まれていないため、クロス集計結果の回答者総数(n)の合計と全体の回答者総数は合致しません。

Ⅱ. 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査結果(一般高齢者、要支援者)

1 回答者の属性について

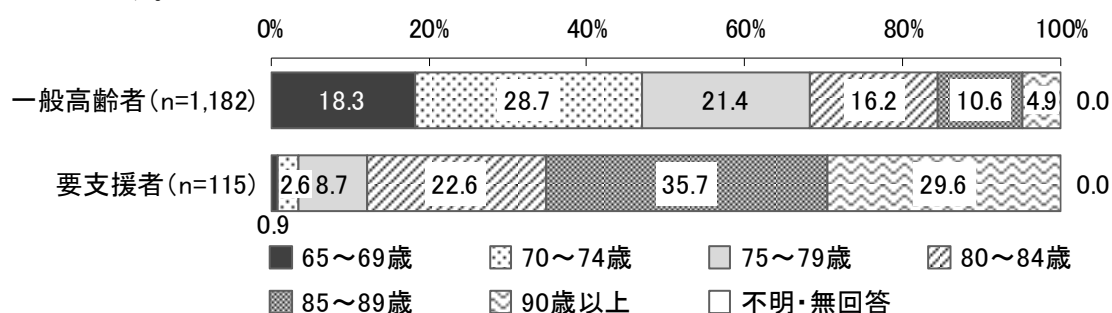
(1) 性別 (単数回答)【問1】

性別について、一般高齢者は「男性」が44.2%、「女性」が55.8%、要支援者は「男性」が27.0%、「女性」が73.0%となっています。



(2) 年齢 (令和5年1月1日現在) (数量回答)【問2】

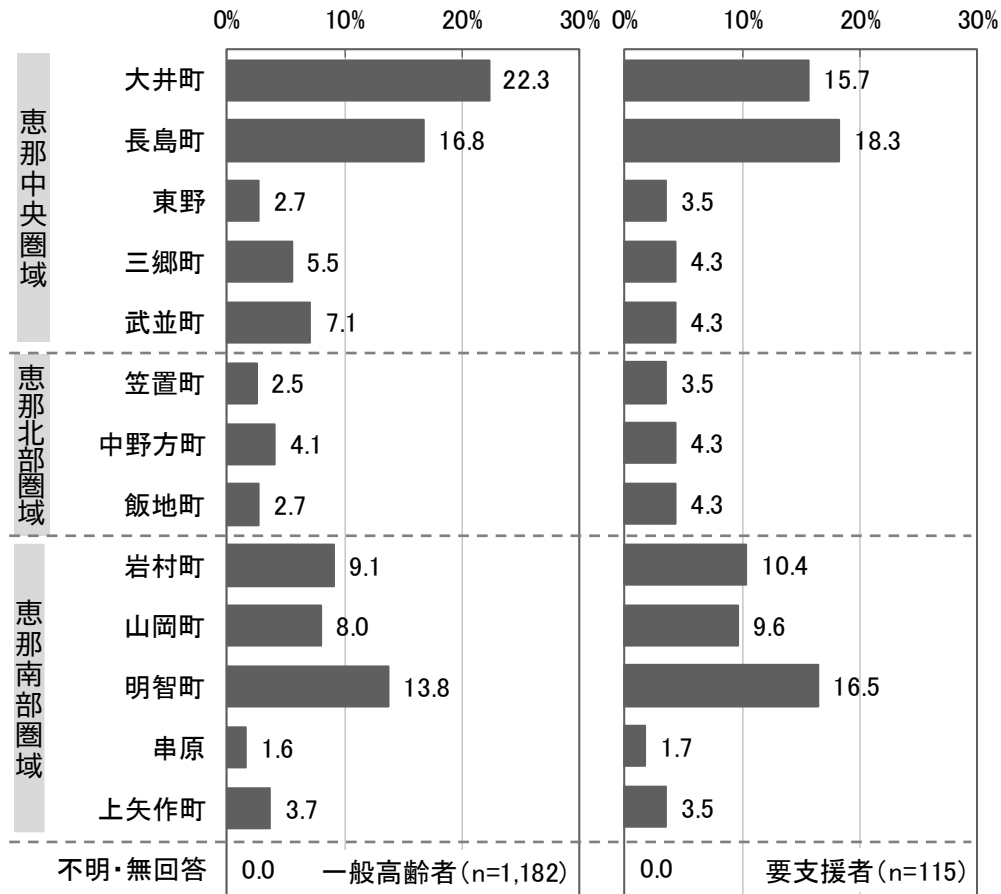
年齢について、一般高齢者は「70～74歳」が28.7%と最も高く、次いで「75～79歳」が21.4%となっています。要支援者は「85～89歳」が35.7%と最も高く、次いで「90歳以上」が29.6%となっています。



(3) 居住地（単数回答）【問3】

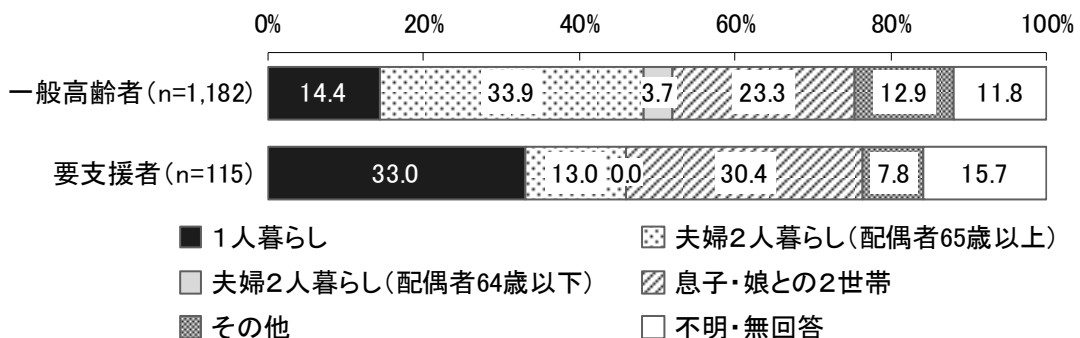
居住地について、一般高齢者は「大井町」が22.3%と最も高く、次いで「長島町」が16.8%となっています。要支援者は、「長島」が18.3%と最も高く、次いで「明智町」が16.5%となっています。

なお、居住地を日常生活圏域別にみると、一般高齢者は「恵那中央圏域」が54.4%、「恵那北部圏域」が9.4%、「恵那南部圏域」が36.2%となっています。要支援者は「恵那中央圏域」が46.1%、「恵那北部圏域」が12.2%、「恵那南部圏域」が41.7%となっています。



(4) 世帯（単数回答）【問4】

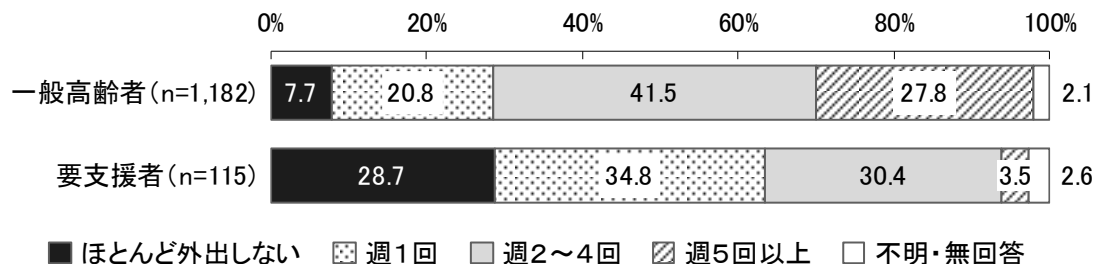
家族構成について、一般高齢者は「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が33.9%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が23.3%となっています。要支援者は「1人暮らし」が33.0%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が30.4%となっています。



2 からだを動かすことについて

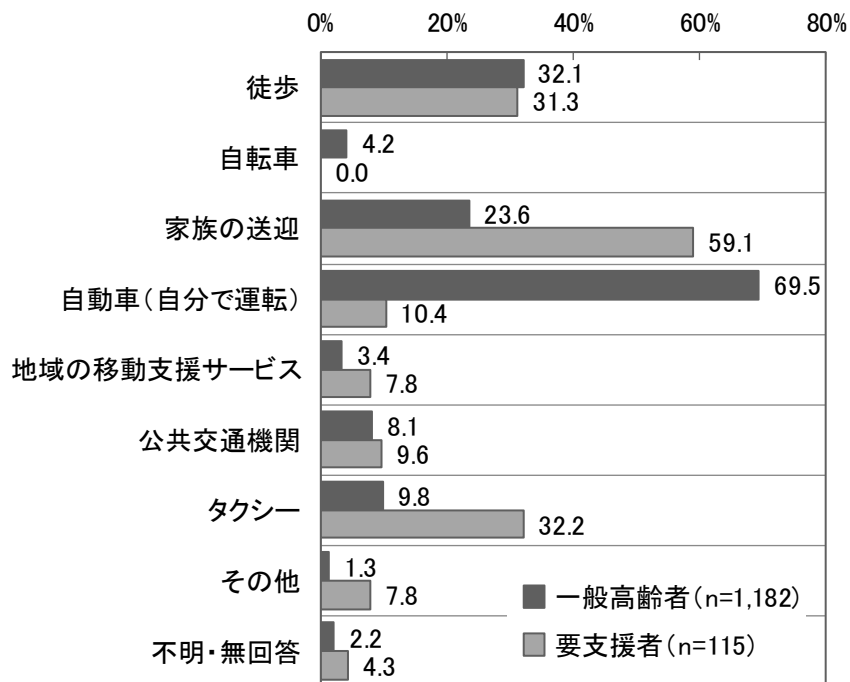
(5) 週あたりの外出頻度（単数回答）【問 13】

外出について、一般高齢者は「週2～4回」が41.5%と最も高く、次いで「週5回以上」が27.8%となっています。要支援者は「週1回」が34.8%と最も高く、次いで「週2～4回」が30.4%となっています。



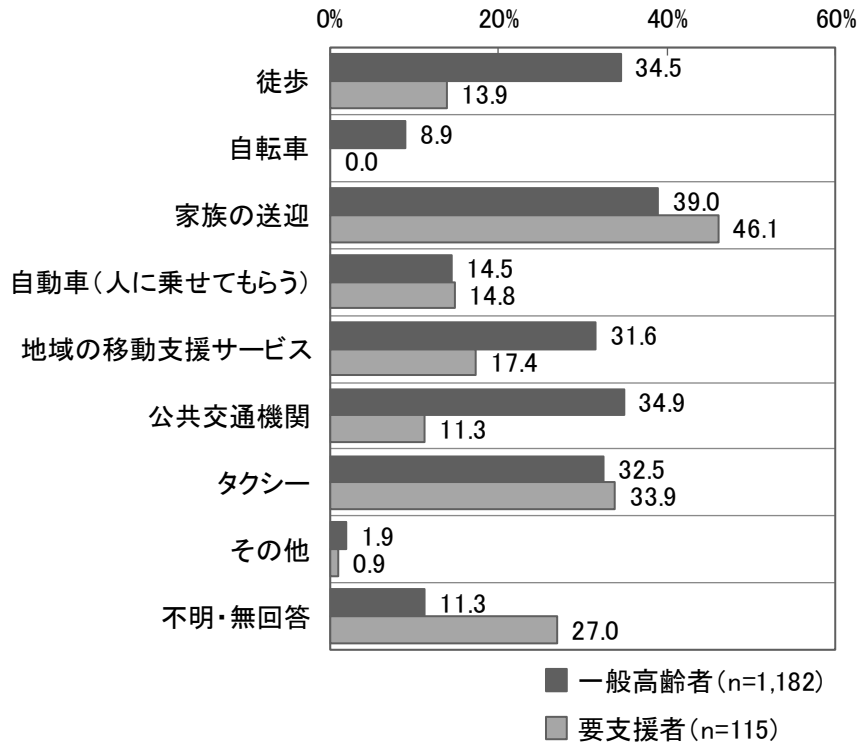
(6) 外出する際の移動手段（複数回答）【問 17】

外出時の移動手段について、一般高齢者は「自動車（自分で運転）」が69.5%と最も高く、次いで「徒歩」が32.1%となっています。要支援者は「家族の送迎」が59.1%と最も高く、次いで「タクシー」が32.2%となっています。



(7) 運転免許の返納後の移動手段の希望（複数回答）【問 19】

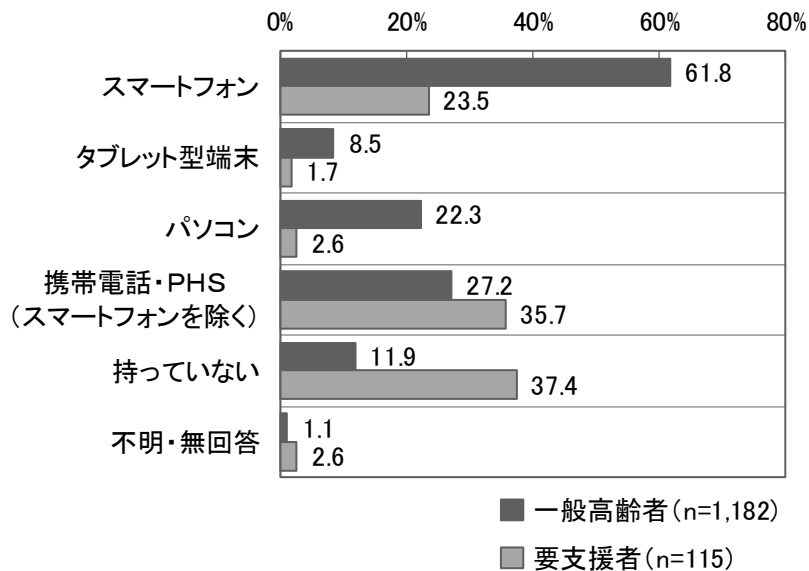
運転免許の返納後の移動手段は何がいいと思うかについて、一般高齢者は「家族の送迎」が 39.0%と最も高く、次いで「公共交通機関」が 34.9%となっています。要支援者は「家族の送迎」が 46.1%と最も高く、次いで「タクシー」が 33.9%となっています。



3 毎日の生活について

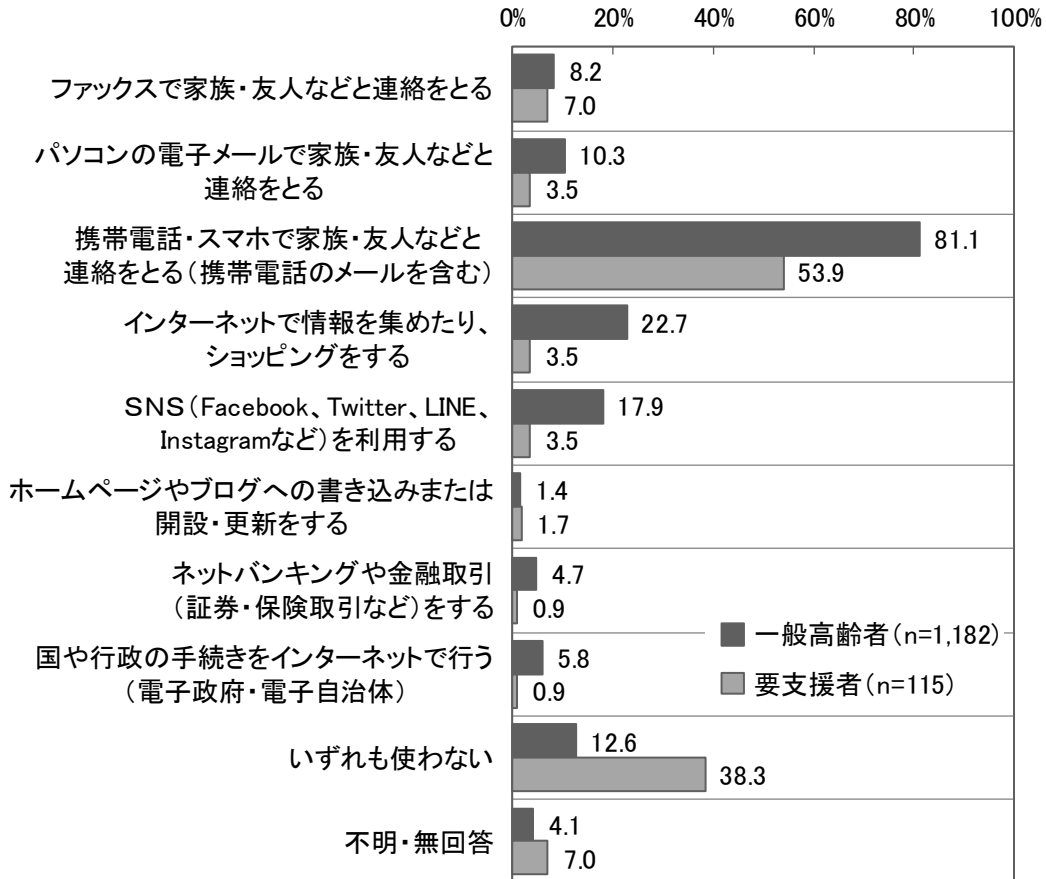
(8) 通信機器の所持（複数回答）【問 40】

持っている通信機器について、一般高齢者は「スマートフォン」が 61.8%と最も高く、次いで「携帯電話・PHS（スマートフォンを除く）」が 27.2%となっています。要支援者は「持っていない」が 37.4%と最も高く、次いで「携帯電話・PHS（スマートフォンを除く）」が 35.7%となっています。



(9) 通信機器の用途（複数回答）【問 41】

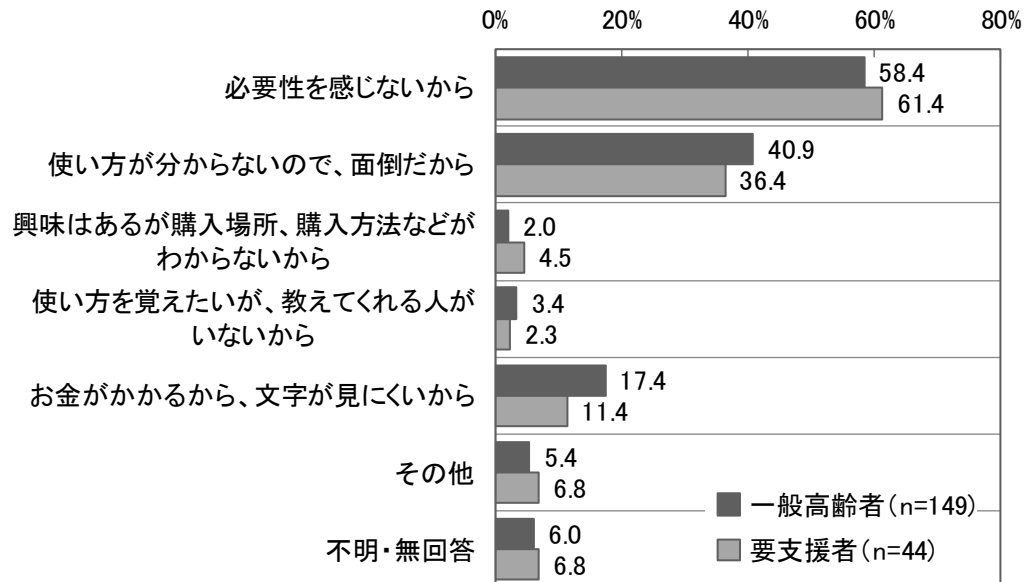
情報機器の用途について、一般高齢者は「携帯電話・スマホで家族・友人などと連絡をとる（携帯電話のメールを含む）」が81.1%と最も高く、次いで「インターネットで情報を集めたり、ショッピングをする」が22.7%となっています。要支援者は「携帯電話・スマホで家族・友人などと連絡をとる（携帯電話のメールを含む）」が53.9%と最も高く、次いで「いずれも使わない」が38.3%となっています。



(10) 通信機器を使用していない理由（複数回答）【問 41-1】

* いずれの通信機器も使っていない方のみ質問

情報機器を使っていない理由について、一般高齢者は「必要性を感じないから」が 58.4%と最も高く、次いで「使い方が分からないので、面倒だから」が 40.9%となっています。要支援者は「必要性を感じないから」が 61.4%と最も高く、次いで「使い方が分からないので、面倒だから」が 36.4%となっています。

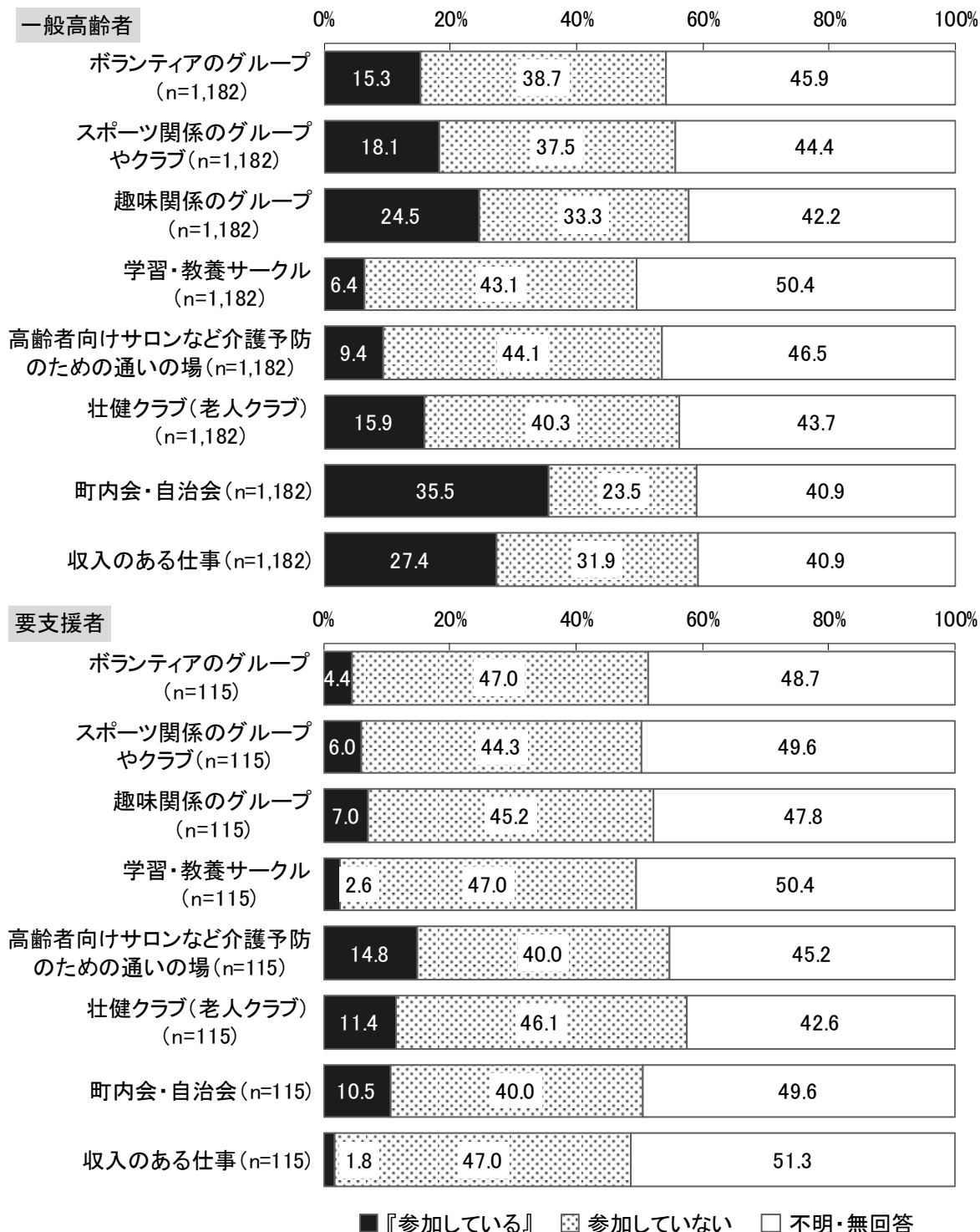


4 地域での活動について

(11) クラブやボランティア活動、グループ等への参加頻度（それぞれ単数回答）【問 48】

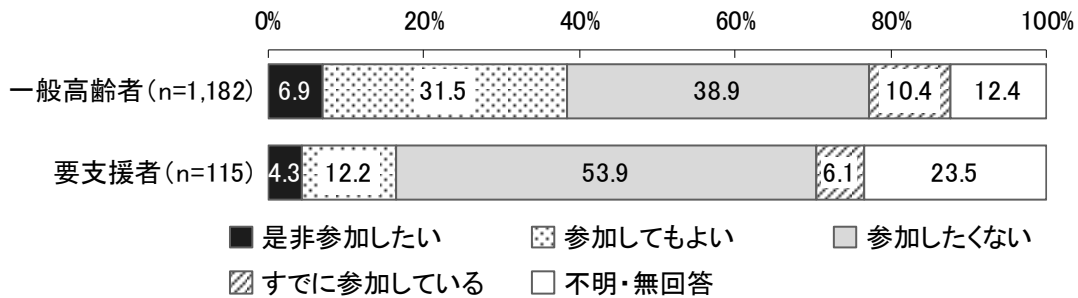
* 『参加している』…「週4回以上」と「週2～3回」と「週1回」と「月1～3回」と「年に数回」を合算

参加しているクラブやボランティア活動、グループ等について、一般高齢者は『参加している』が「町内会・自治会」で35.5%と最も高く、次いで「収入のある仕事」が27.4%となっています。要支援者は『参加している』が「高齢者向けサロンなど介護予防のための通いの場」で14.8%と最も高く、次いで「壮健クラブ（老人クラブ）」が11.4%となっています。



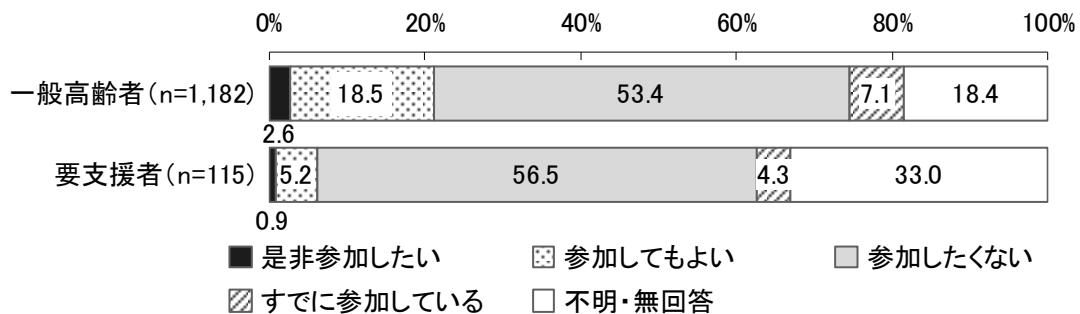
(12) 健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加者としての参加意向 (単数回答) 【問 49】

参加者として健康づくり活動等について、一般高齢者は「参加したくない」が38.9%と最も高く、次いで「参加してもよい」が31.5%となっています。要支援者は「参加したくない」が53.9%と最も高く、次いで「参加してもよい」が12.2%となっています。なお、「すでに参加している」は、一般高齢者が10.4%、要支援者が6.1%となっています。



(13) 健康づくり活動や趣味等のグループ活動への企画・運営としての参加意向 (単数回答) 【問 50】

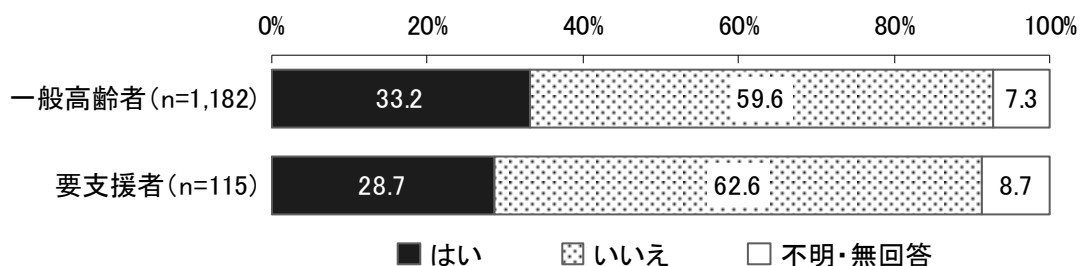
企画・運営側として健康づくり活動等について、一般高齢者は「参加したくない」が53.4%と最も高く、次いで「参加してもよい」が18.5%となっています。要支援者は「参加したくない」が56.5%と最も高く、次いで「参加してもよい」が5.2%となっています。なお、「すでに参加している」は、一般高齢者が7.1%、要支援者が4.3%となっています。



5 健康について

(14) 認知症に関する相談窓口の認知度 (単数回答) 【問 68】

認知症に関する相談窓口を知っているかについて、一般高齢者は「はい」が33.2%、「いいえ」が59.6%となっています。要支援者は「はい」が28.7%、「いいえ」が62.6%となっています。

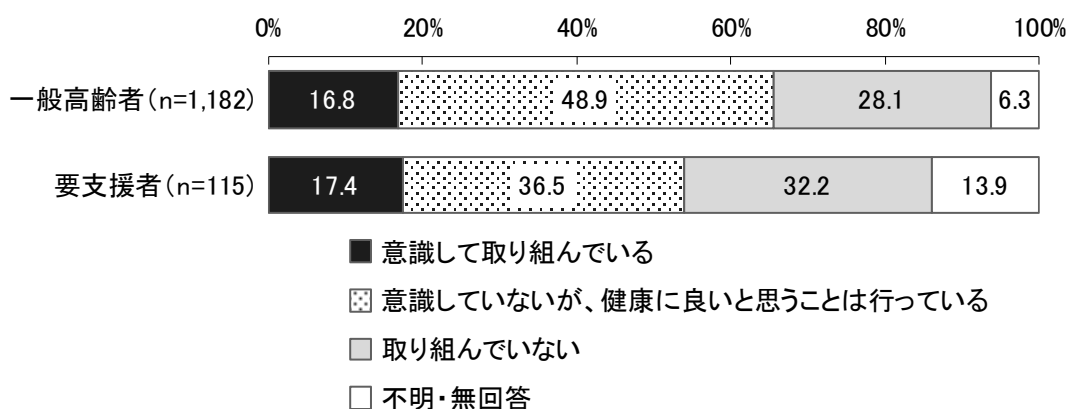


6 介護予防について

(15) 介護予防への取り組み状況（単数回答）【問 69】

* 『取り組んでいる』…「意識して取り組んでいる」と「意識していないが、健康に良いと思うことは行っている」を合算

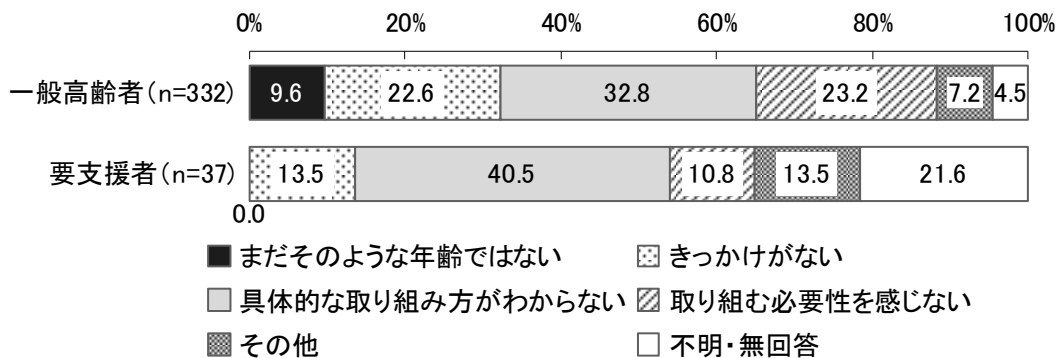
将来、健康に過ごし、介護を受けなくてもいいようにするための健康づくりに取り組んでいるかについて、一般高齢者は「意識して取り組んでいる」が16.8%、「意識していないが、健康に良いと思うことは行っている」が48.9%、「取り組んでいない」が28.1%であり、『取り組んでいる』は65.7%となっています。要支援者は「意識して取り組んでいる」が17.4%、「意識していないが、健康に良いと思うことは行っている」が36.5%、「取り組んでいない」が32.2%であり、『取り組んでいる』は53.9%となっています。



(16) 介護予防に取り組んでいない理由（単数回答）【問 69-1】

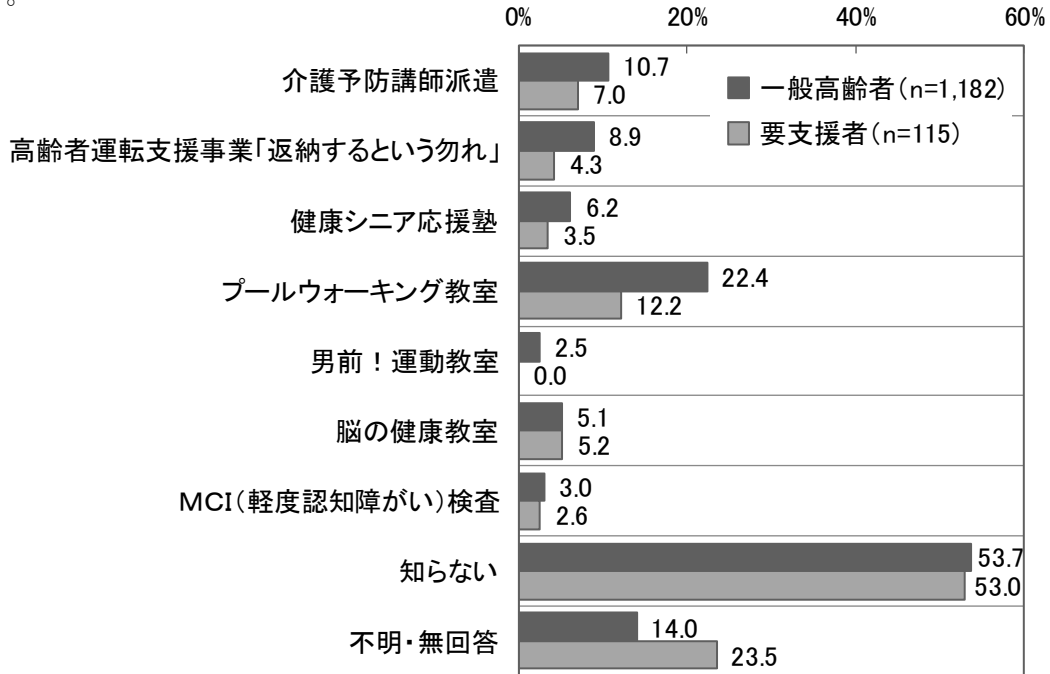
* 取り組んでいない方のみへの質問

介護予防に取り組んでいない理由について、一般高齢者は「具体的な取り組み方がわからない」が32.8%と最も高く、次いで「取り組む必要性を感じない」が23.2%となっています。要支援者は「具体的な取り組み方がわからない」が40.5%と最も高く、次いで「きっかけがない」「その他」がそれぞれ13.5%となっています。



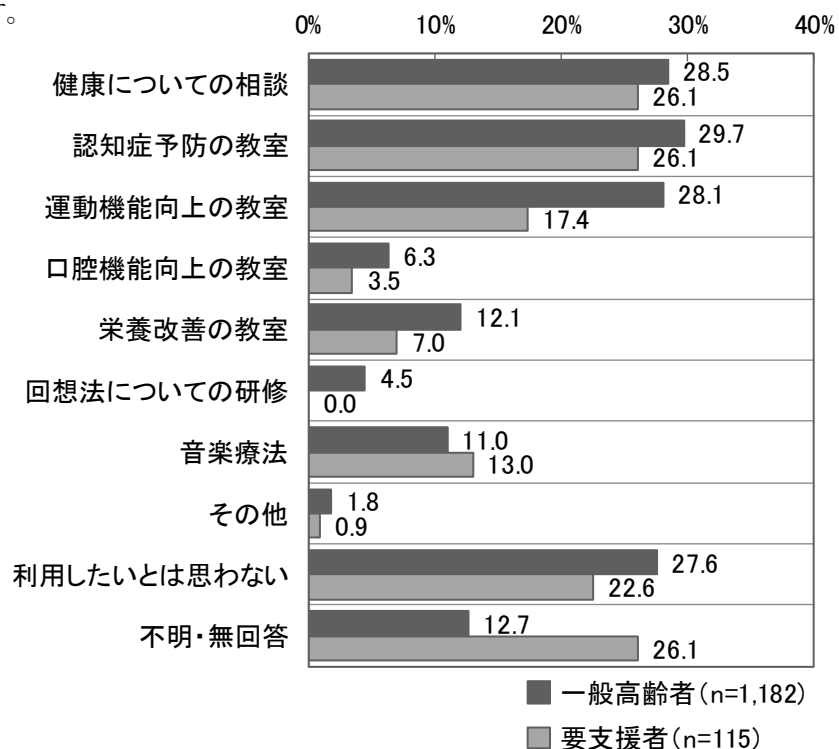
(17) 介護予防事業の認知度（単数回答）【問 71】

恵那市で実施されている介護予防事業について知っているものについて、一般高齢者は「知らない」が53.7%と最も高く、次いで「プールウォーキング教室」が22.4%となっています。要支援者は「知らない」が53.0%と最も高く、次いで「プールウォーキング教室」が12.2%となっています。



(18) 介護予防事業の利用意向（複数回答）【問 72】

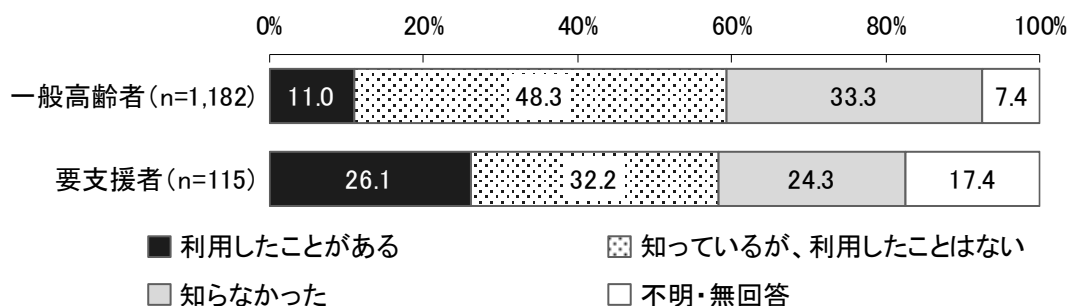
利用したいと思う介護予防事業について、一般高齢者は「認知症予防の教室」が29.7%と最も高く、次いで「健康についての相談」が28.5%となっています。要支援者は「健康についての相談」「認知症予防の教室」がそれぞれ26.1%と最も高く、次いで「利用したいとは思わない」が22.6%となっています。



7 高齢者の相談窓口について

(19) 地域包括支援センターの利用状況（単数回答）【問 75】

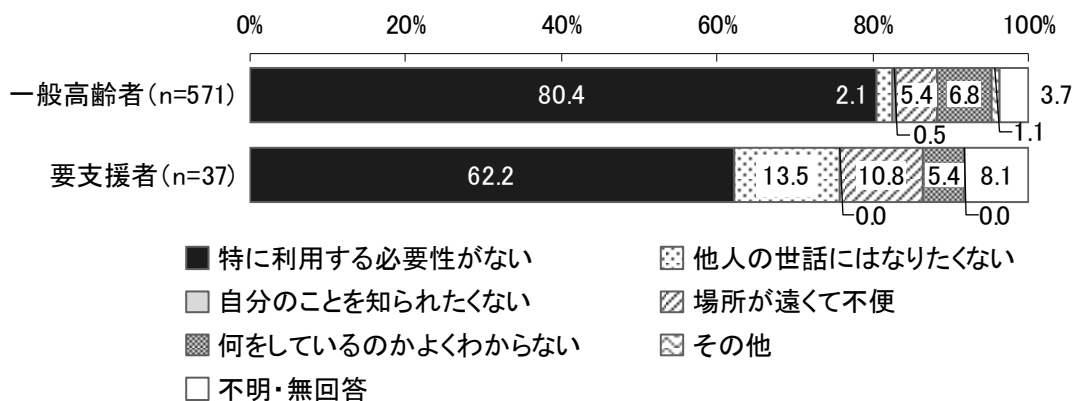
地域包括支援センターの認知度について、一般高齢者は「利用したことがある」が11.0%、「知っているが、利用したことはない」が48.3%、「知らなかった」が33.3%となっています。要支援者は「利用したことがある」が26.1%、「知っているが、利用したことはない」が32.2%、「知らなかった」が24.3%となっています。



(20) 地域包括支援センターを利用しない理由（単数回答）【問 75-1】

* 地域包括支援センターを知っているが、利用したことがない方のみへの質問

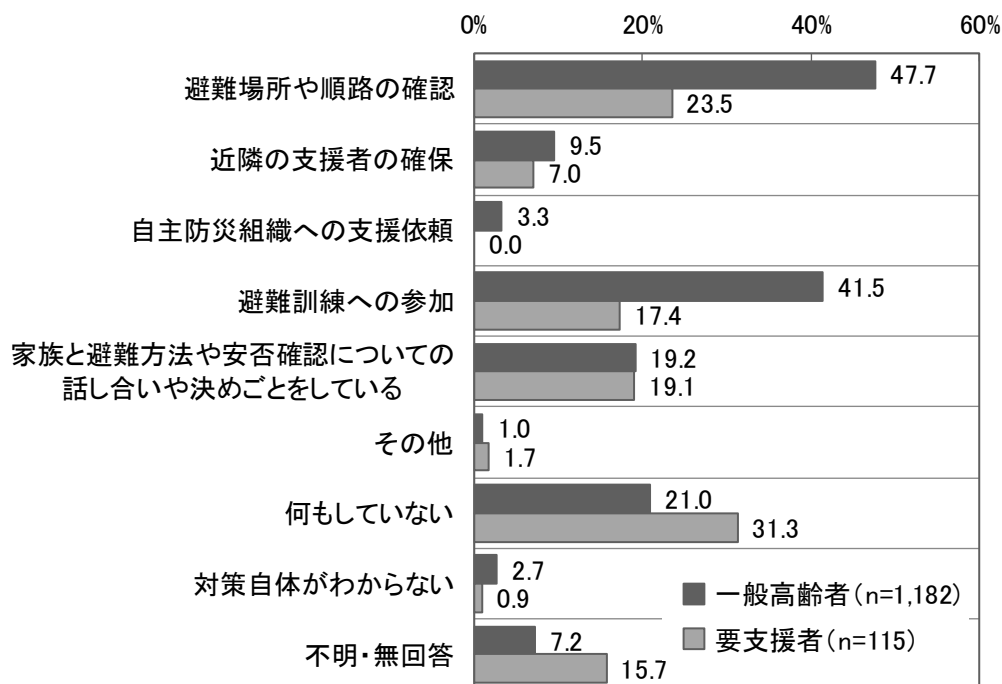
地域包括支援センターを知っているが、利用したことがない理由について、一般高齢者は「特に利用する必要性がない」が80.4%と最も高く、次いで「何をしているのかよくわからない」が6.8%となっています。要支援者は「特に利用する必要性がない」が62.2%と最も高く、次いで「他人の世話にはなりたくない」が13.5%となっています。



8 防災について

(21) 災害時の避難における対策（複数回答）【問 79】

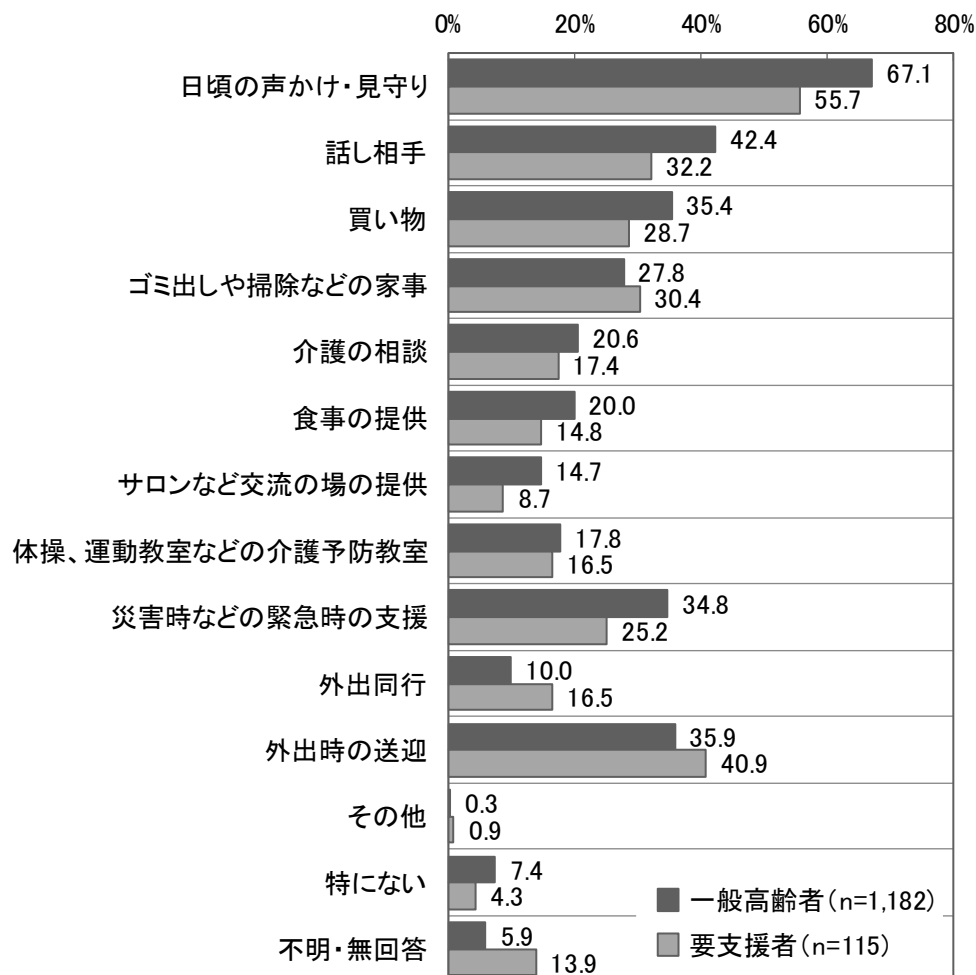
災害時の避難対策について、一般高齢者は「避難場所や順路の確認」が47.7%と最も高く、次いで「避難訓練への参加」が41.5%となっています。要支援者は「何もしていない」が31.3%と最も高く、次いで「避難場所や順路の確認」が23.5%となっています。



9 高齢社会について

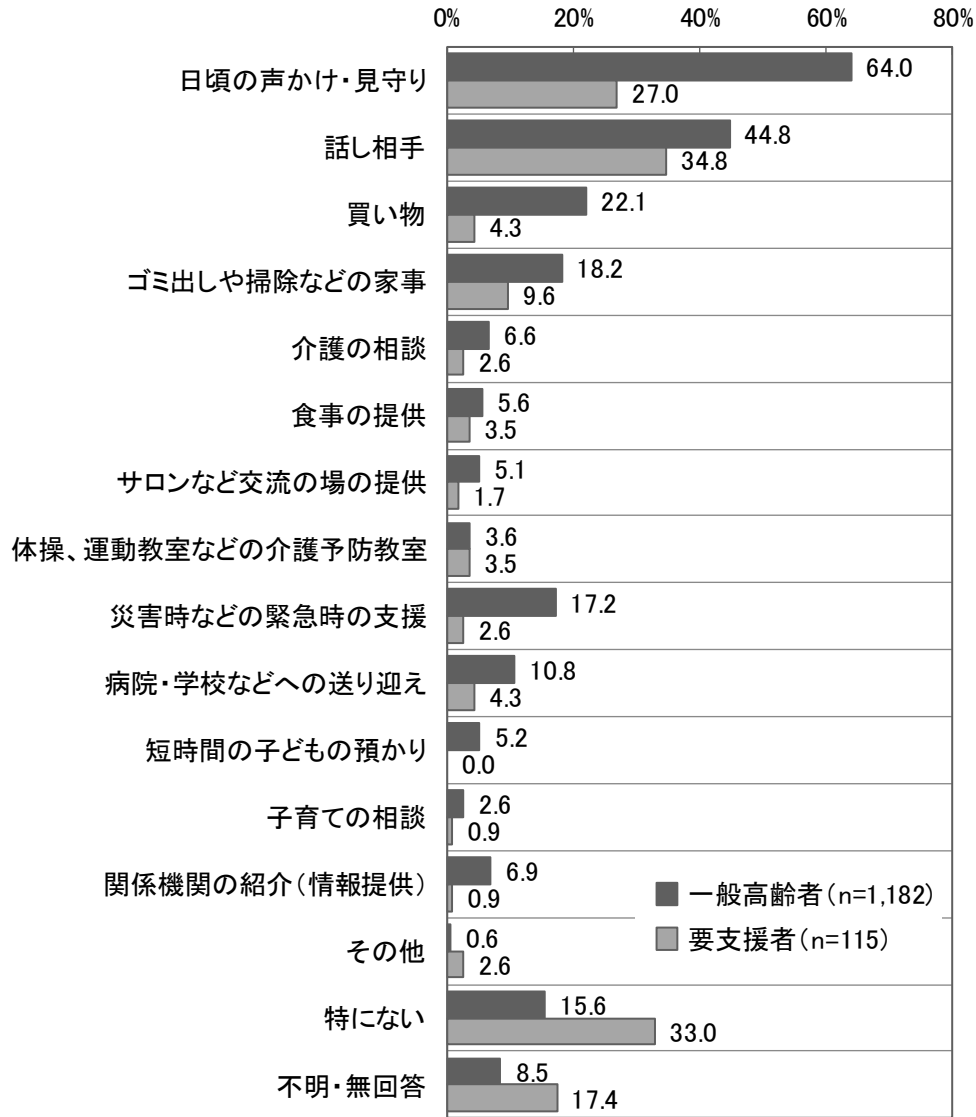
(22) 地域住民を活かした必要な高齢者支援（複数回答）【問 80】

地域住民を活かした高齢者支援で必要だと思うものについて、一般高齢者は「日頃の声かけ・見守り」が67.1%と最も高く、次いで「話し相手」が42.4%となっています。要支援者は「日頃の声かけ・見守り」が55.7%と最も高く、次いで「外出時の送迎」が40.9%となっています。



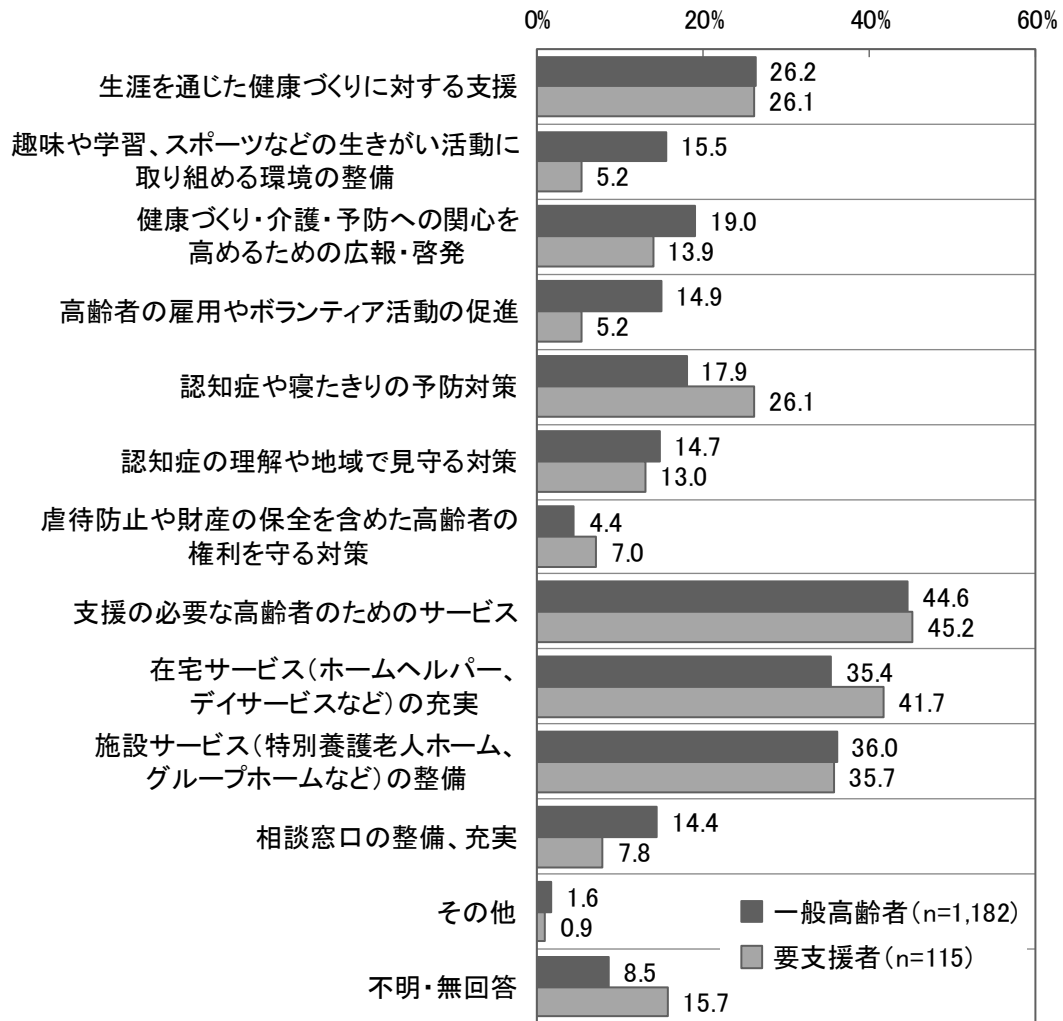
(23) 地域で困っている人に対しできること（複数回答）【問 81】

地域で困っている人に対しあなたができることについて、一般高齢者は「日頃の声かけ・見守り」が64.0%と最も高く、次いで「話し相手」が44.8%となっています。要支援者は「話し相手」が34.8%と最も高く、次いで「特にない」が33.0%となっています。



(24) 高齢社会に向けて恵那市が重点をおくべきだと思うこと（複数回答）【問 82】

高齢社会に向けて、本市が重点をおくべきだと思うことについて、一般高齢者は「支援の必要な高齢者のためのサービス」が44.6%と最も高く、次いで「施設サービス（特別養護老人ホーム、グループホームなど）の整備」が36.0%となっています。要支援者は「支援の必要な高齢者のためのサービス」が45.2%と最も高く、次いで「在宅サービス（ホームヘルパー、デイサービスなど）の充実」が41.7%となっています。

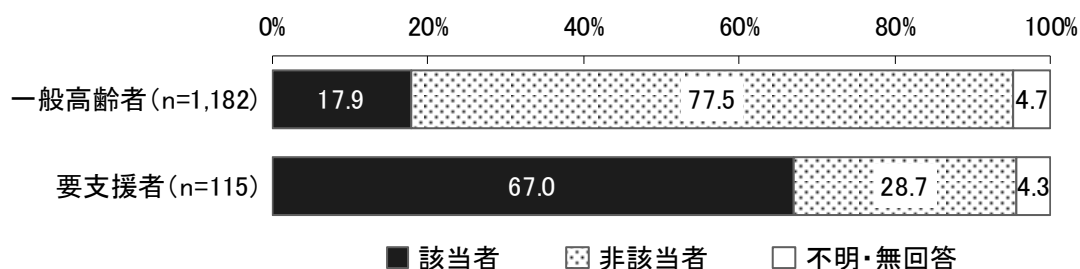


10 調査結果からみる調査対象者の評価

一般高齢者調査結果を活用し、「運動器」「転倒」「閉じこもりリスク」「栄養」「口腔」「認知機能」「うつ傾向」「IADL」「知的能動性」「社会的役割」の10項目について機能判定の評価を行いました。

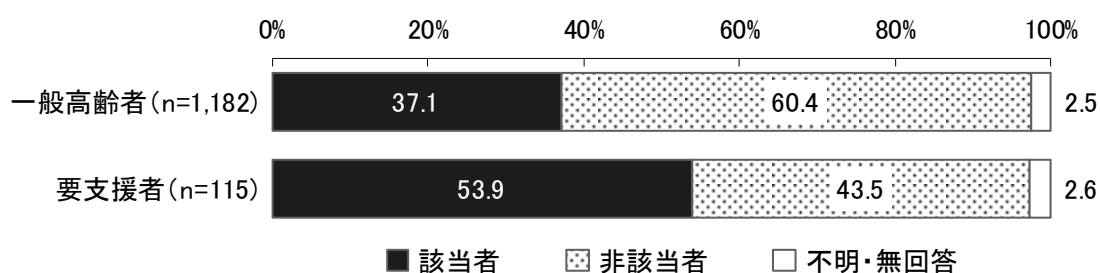
(25) 運動器

「該当者」は一般高齢者が17.9%、要支援者が67.0%となっています。



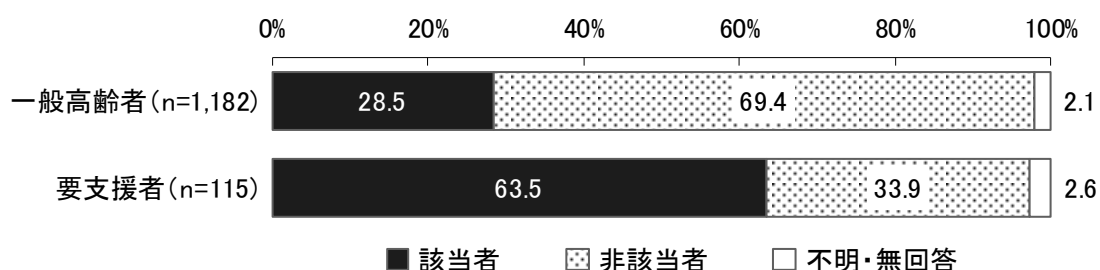
(26) 転倒

「該当者」は一般高齢者が37.1%、要支援者が53.9%となっています。



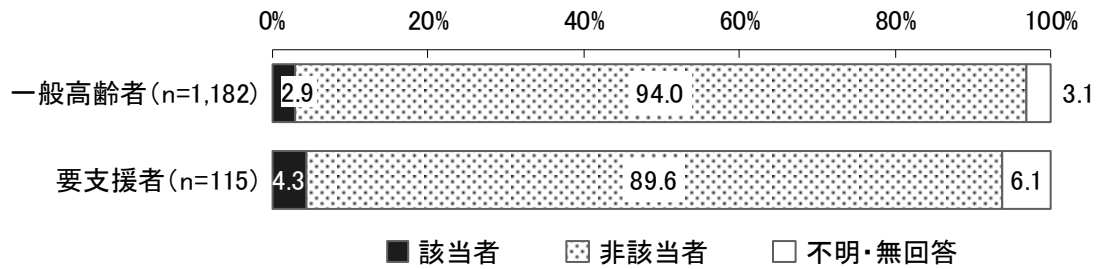
(27) 閉じこもりリスク

「該当者」は一般高齢者が28.5%、要支援者が63.5%となっています。



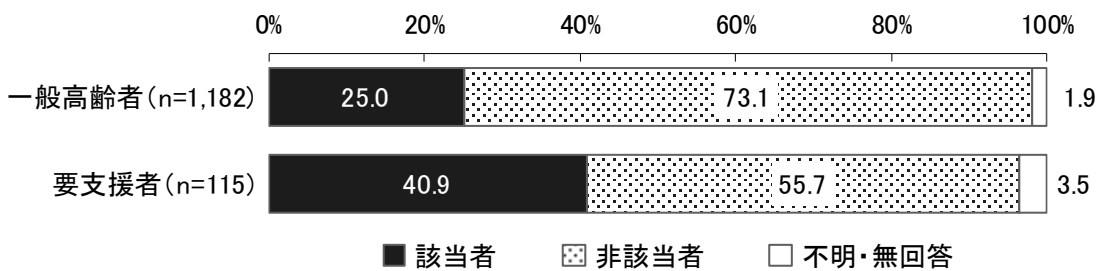
(28) 栄養

「該当者」は一般高齢者が 2.9%、要支援者が 4.3%となっています。



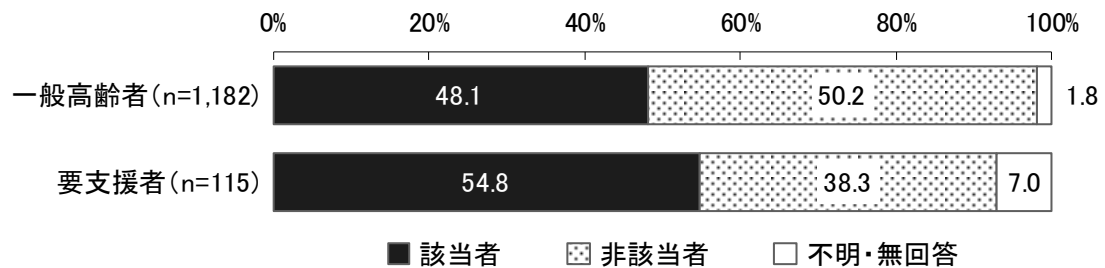
(29) 口腔

「該当者」は一般高齢者が 25.0%、要支援者が 40.9%となっています。



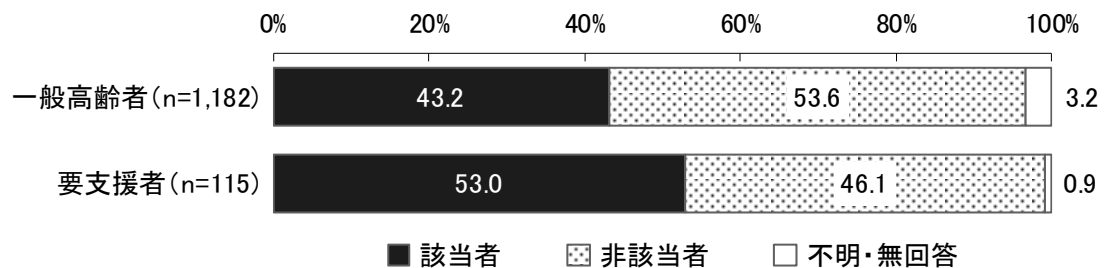
(30) 認知機能

「該当者」は一般高齢者が 48.1%、要支援者が 54.8%となっています。



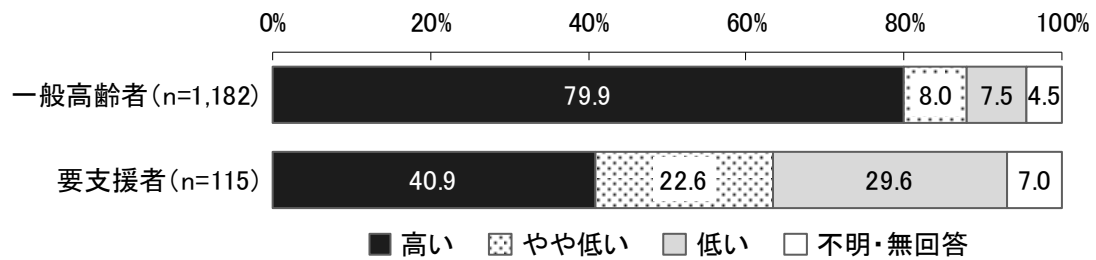
(31) うつ傾向

「該当者」は一般高齢者が 43.2%、要支援者が 53.0%となっています。



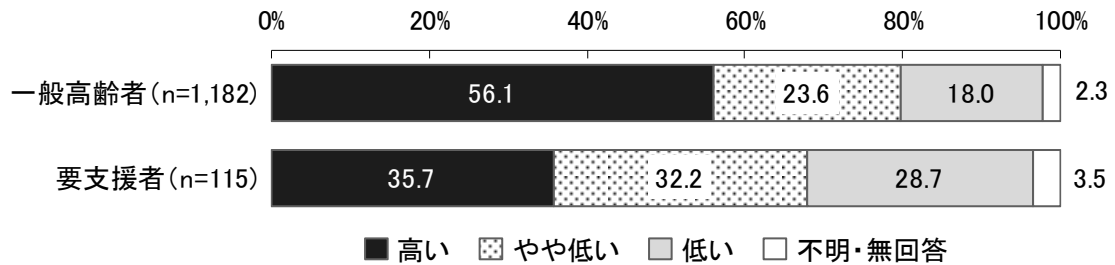
(32) IADL (手段的日常生活動作)

「低い」は一般高齢者が7.5%、要支援者が29.6%となっています。



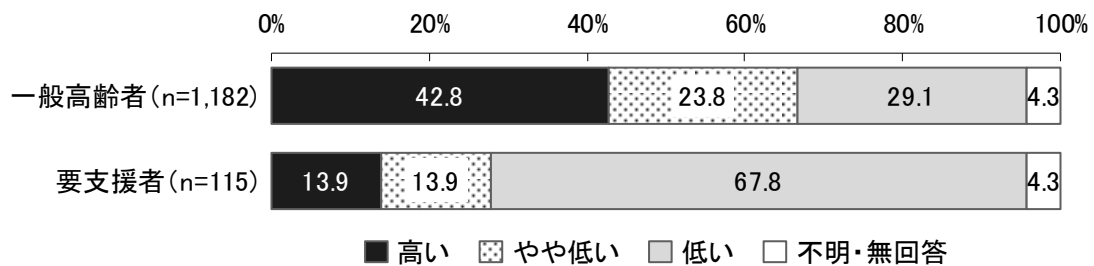
(33) 知的能動性

「低い」は一般高齢者が18.0%、要支援者が28.7%となっています。



(34) 社会的役割

「低い」は一般高齢者が29.1%、要支援者が67.8%となっています。

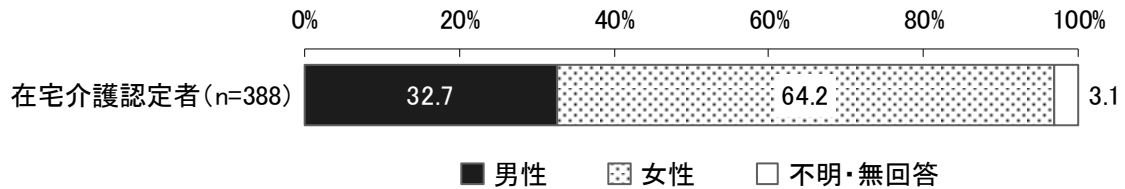


Ⅲ. 在宅介護実態調査結果(要介護認定者)

1 回答者の属性について

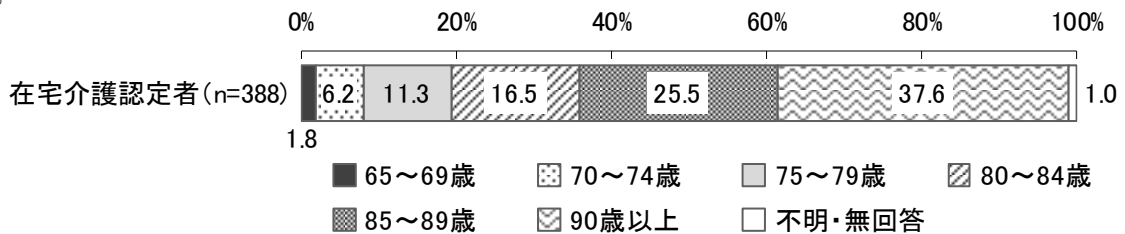
(1) 性別 (単数回答) 【問1】

性別について、「男性」が32.7%、「女性」が64.2%となっています。



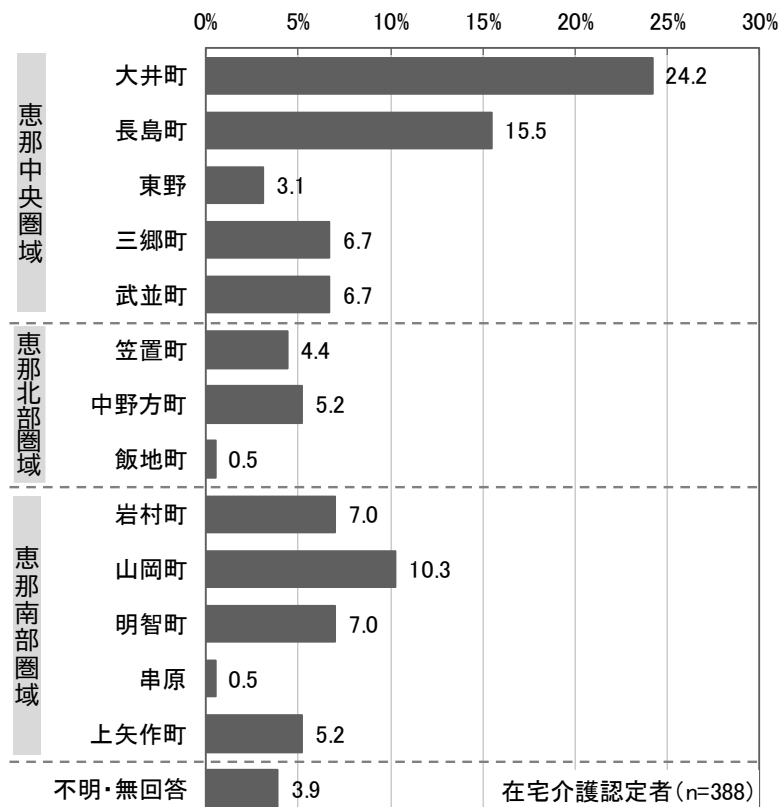
(2) 年齢 (令和5年1月1日現在) (単数回答) 【問2】

年齢について、「90歳以上」が37.6%と最も高く、次いで「85～89歳」が25.5%となっています。



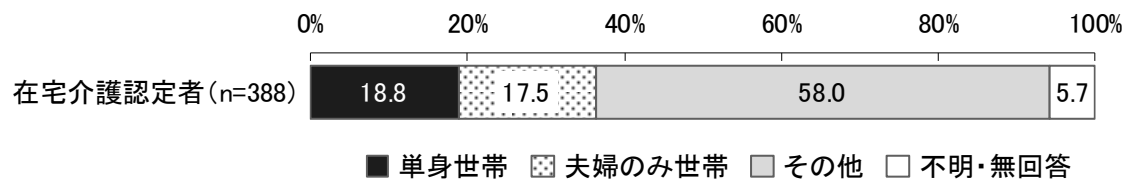
(3) 居住地 (単数回答) 【問3】

居住地について、「大井町」が24.2%と最も高く、次いで「長島町」が15.5%となっています。
 なお、居住地を日常生活圏域別にみると、「恵那中央圏域」が56.2%、「恵那北部圏域」が10.1%、「恵那南部圏域」が29.9%となっています。



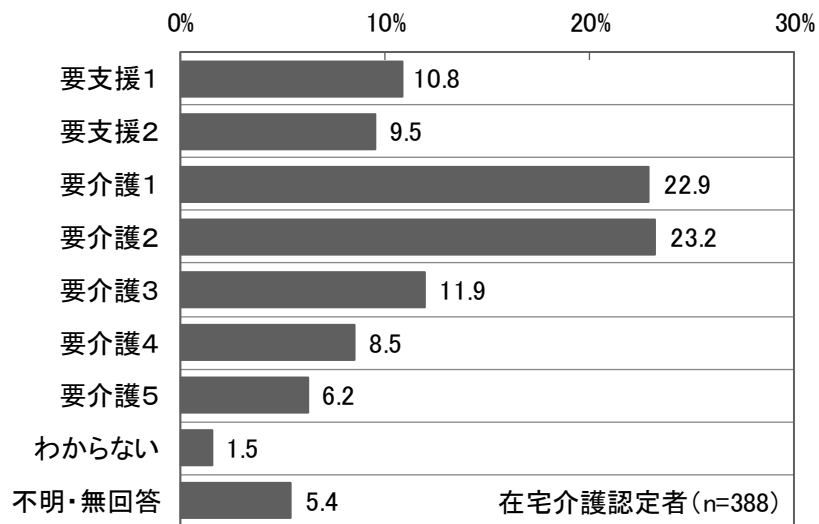
(4) 世帯類型 (単数回答) 【問4】

世帯類型について、「単身世帯」が18.8%、「夫婦のみ世帯」が17.5%、「その他」が58.0%となっています。



(5) 要介護度 (単数回答) 【問6】

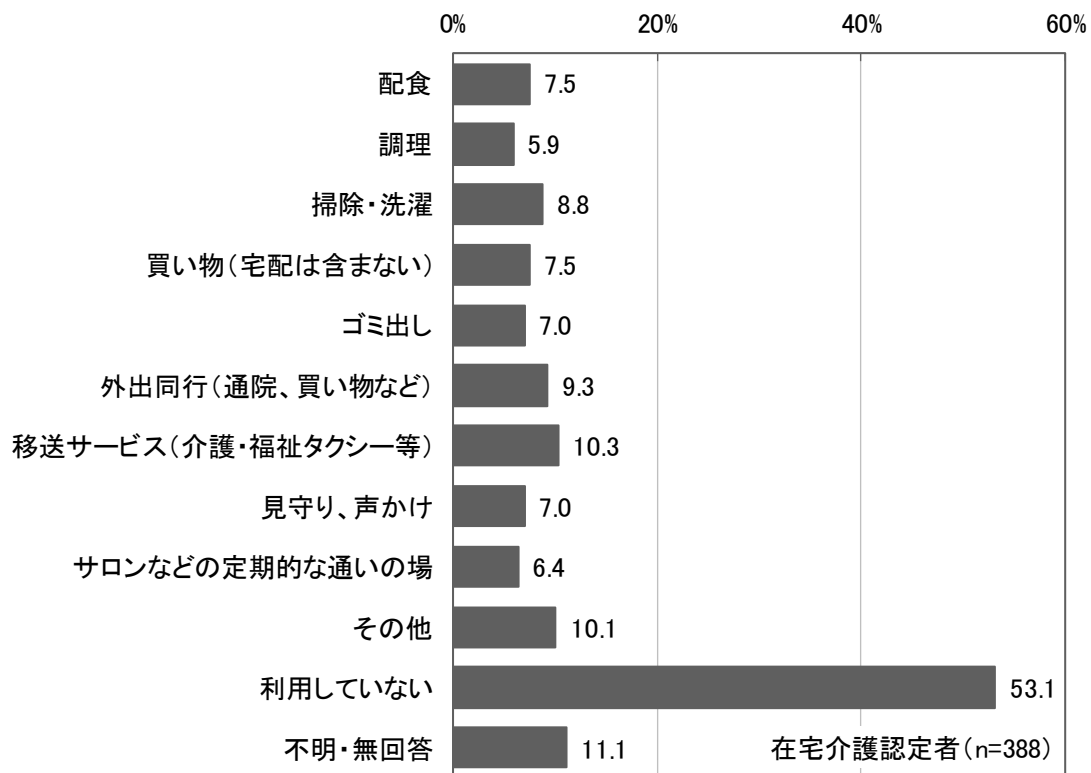
現在の要介護度について、「要介護2」が23.2%と最も高く、次いで「要介護1」が22.9%となっています。



2 支援・サービス・訪問診療の利用状況・ニーズについて

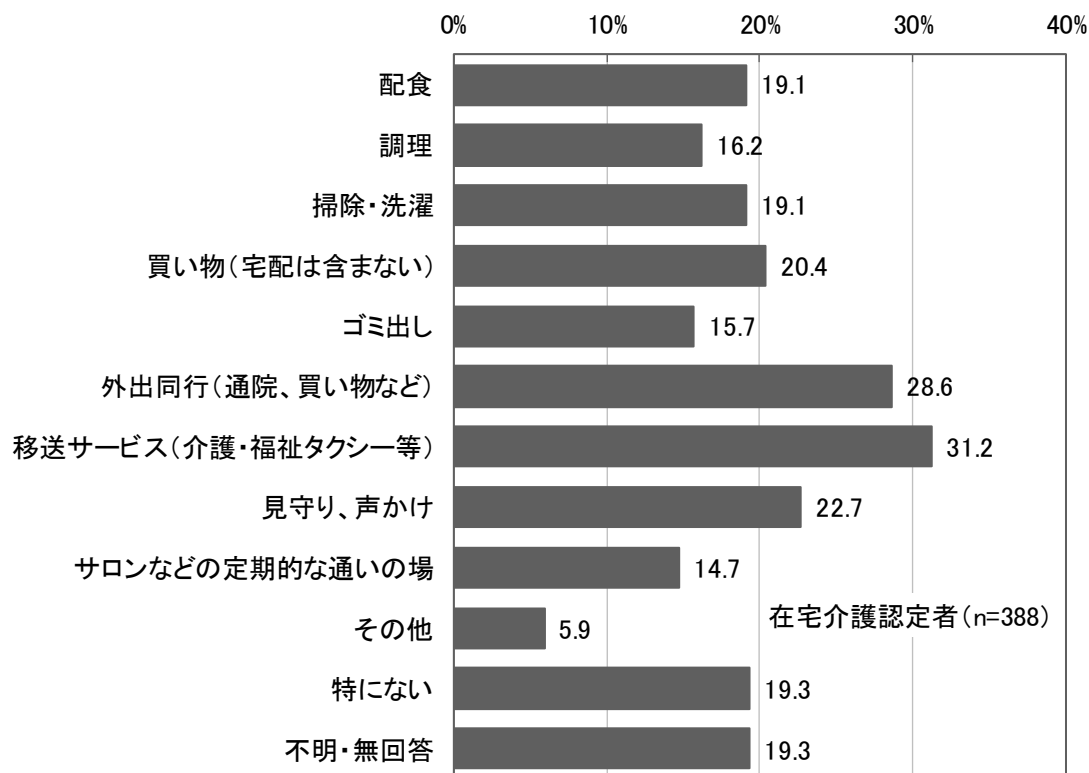
(6) 現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービス（複数回答）【問8】

利用している介護保険サービス以外の支援・サービスについて、「利用していない」が53.1%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が10.3%となっています。



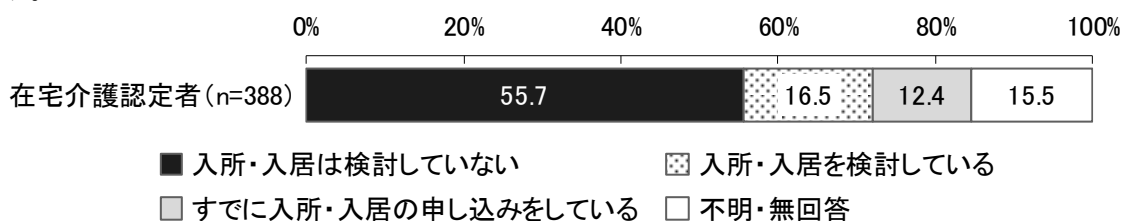
(7) 在宅生活を今後も続けていくために必要な支援・サービス（複数回答）【問9】

在宅生活を今後も続けていくために必要な支援・サービスについて、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が31.2%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が28.6%となっており、移動に関する支援・サービスが高くなっています。



(8) 施設等への入所・入居の検討状況（単数回答）【問10】

施設等への入所・入居の検討について、「入所・入居は検討していない」が55.7%、「入所・入居を検討している」が16.5%、「すでに入所・入居の申し込みをしている」が12.4%となっています。



(9) 介護保険サービスの利用の有無（単数回答）【問13】

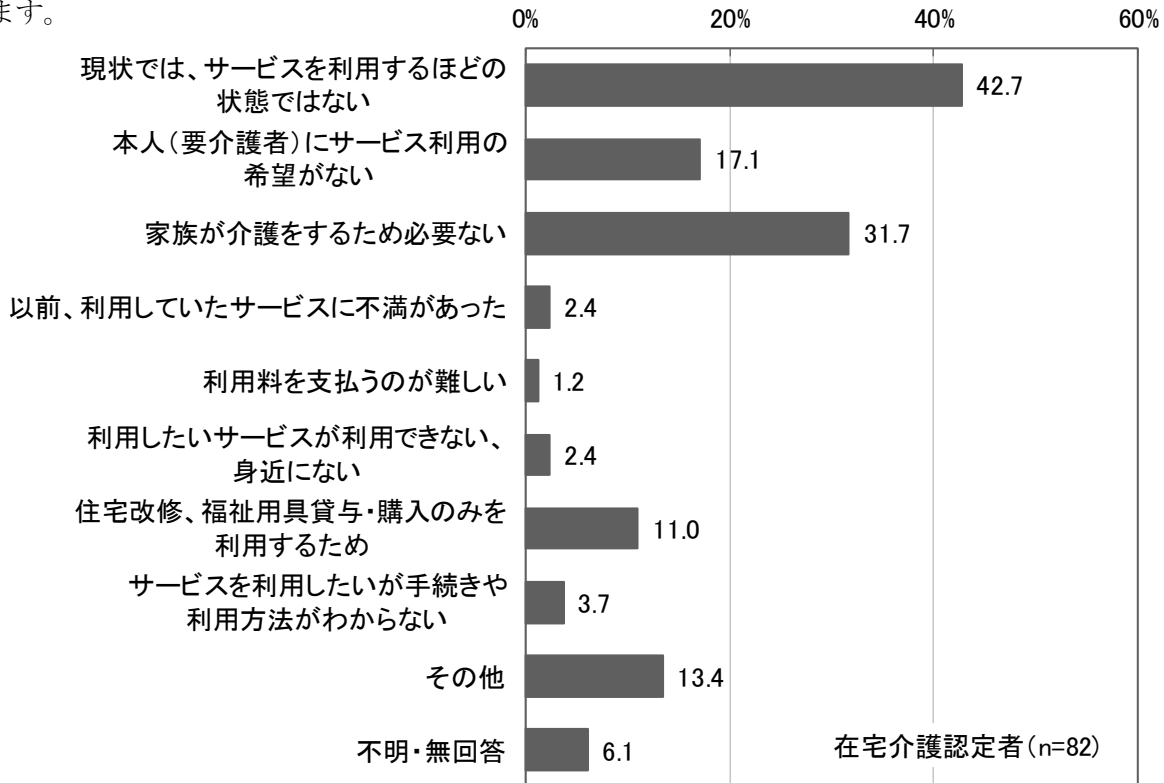
住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用の有無について、「利用している」が63.9%、「利用していない」が21.1%となっています。



(10) 介護保険サービスを利用していない理由（複数回答）【問 13-1】

* 介護保険サービスを利用していない方のみへの質問

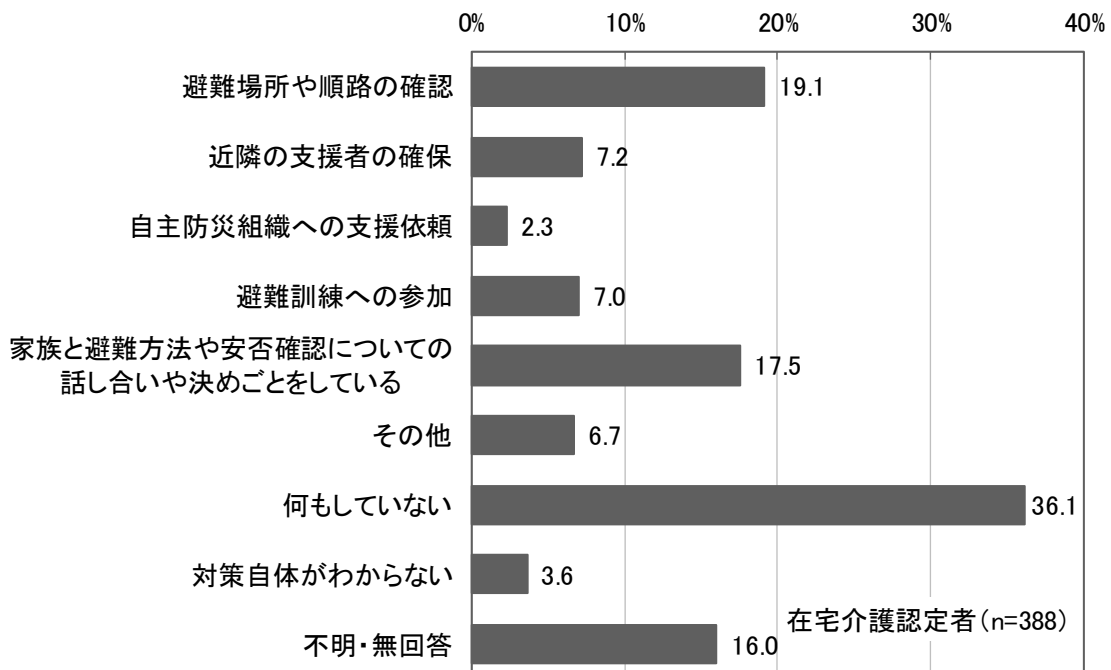
介護保険サービスを利用していない理由について、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 42.7%と最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 31.7%となっています。



3 防災について

(11) 災害時の避難における対策（複数回答）【問 14】

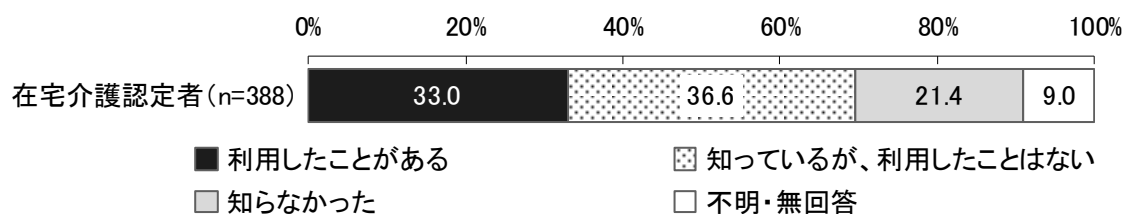
災害時の避難における対策について、「何もしていない」が 36.1%と最も高く、次いで「避難場所や順路の確認」が 19.1%となっています。



4 高齢者の相談窓口について

(12) 地域包括支援センターの利用状況（単数回答）【問 15】

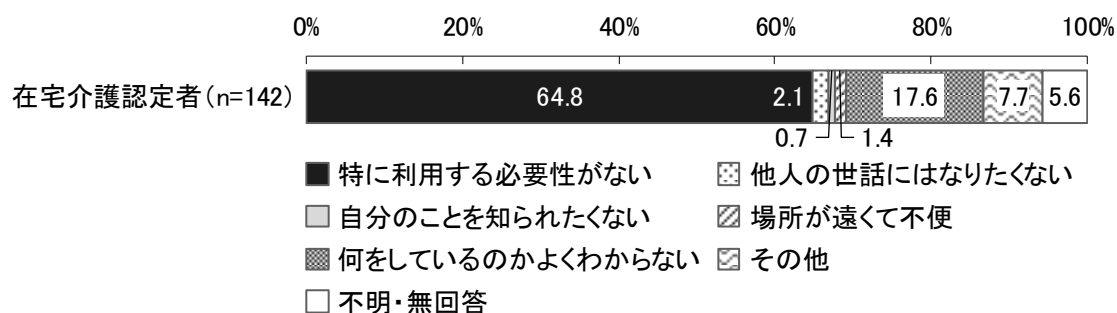
地域包括支援センターの利用について、「利用したことがある」が 33.0%、「知っているが、利用したことはない」が 36.6%、「知らなかった」が 21.4%となっています。



(13) 地域包括支援センターを利用しない理由（単数回答）【問 15-1】

* 地域包括支援センターを知っているが、利用したことがない方のみへの質問

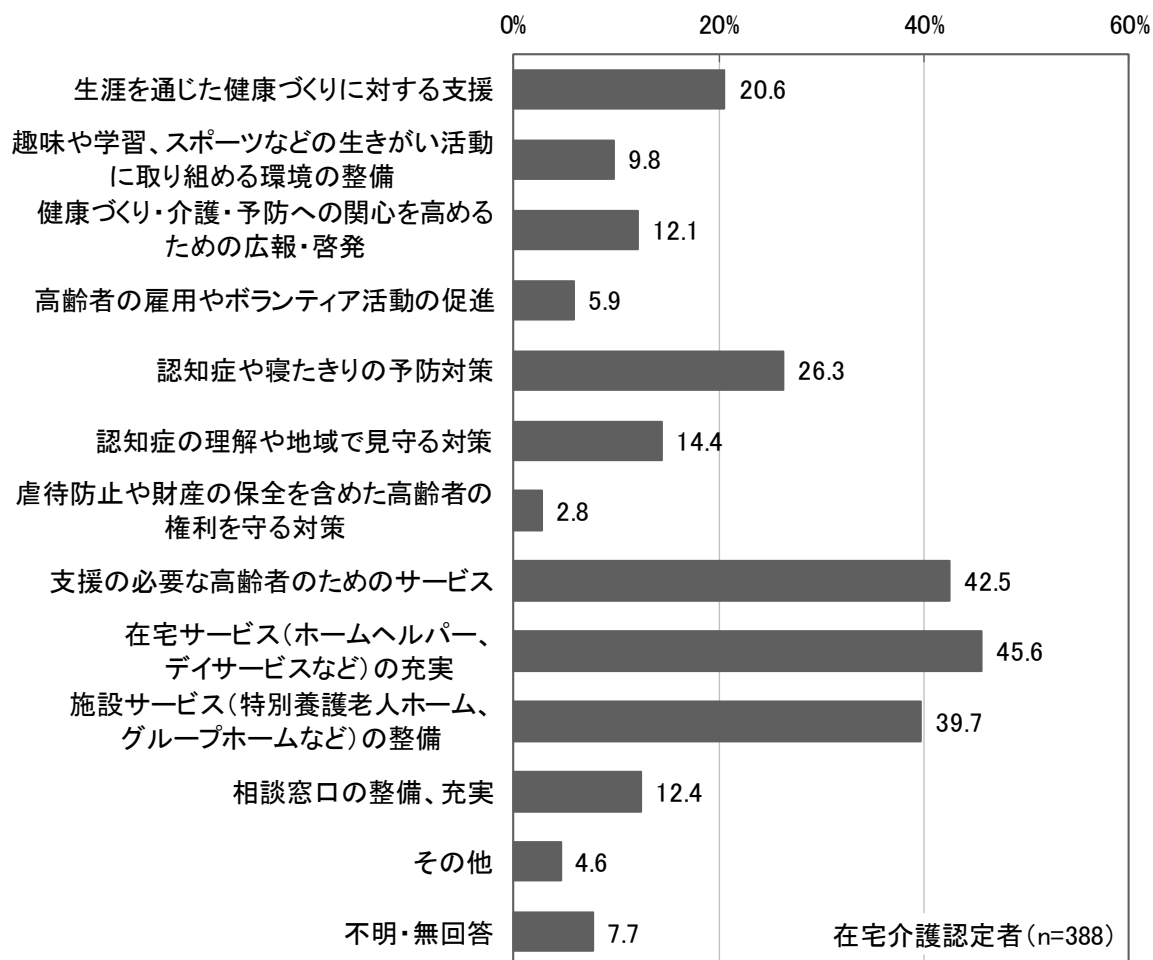
地域包括支援センターを利用しない理由について、「特に利用する必要がない」が 64.8%と最も高く、次いで「何をしているのかよくわからない」が 17.6%となっています。



5 高齢社会について

(14) 高齢社会に向けて恵那市が重点をおくべきだと思うこと（複数回答）【問19】

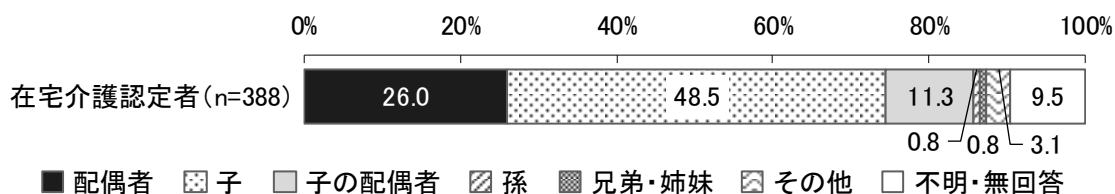
高齢社会に向けて、恵那市が重点をおくべきだと思うことについて、「在宅サービス（ホームヘルパー、デイサービスなど）の充実」が45.6%と最も高く、次いで「支援の必要な高齢者のためのサービス」が42.5%となっています。



6 主な介護者等の状況(属性等)について

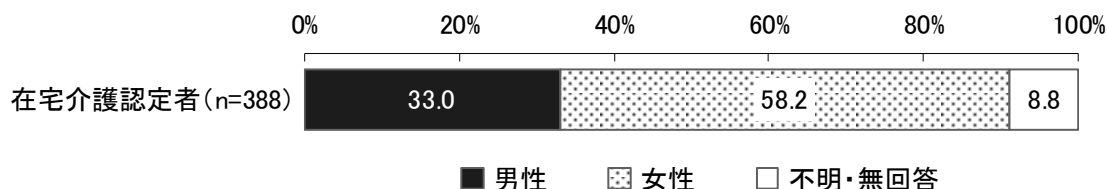
(15) ご本人(要介護者)から見た主な介護者の方(単数回答)【問 20】

主な介護者について、要介護者の「子」が48.5%と最も高く、次いで「配偶者」が26.0%となっています。



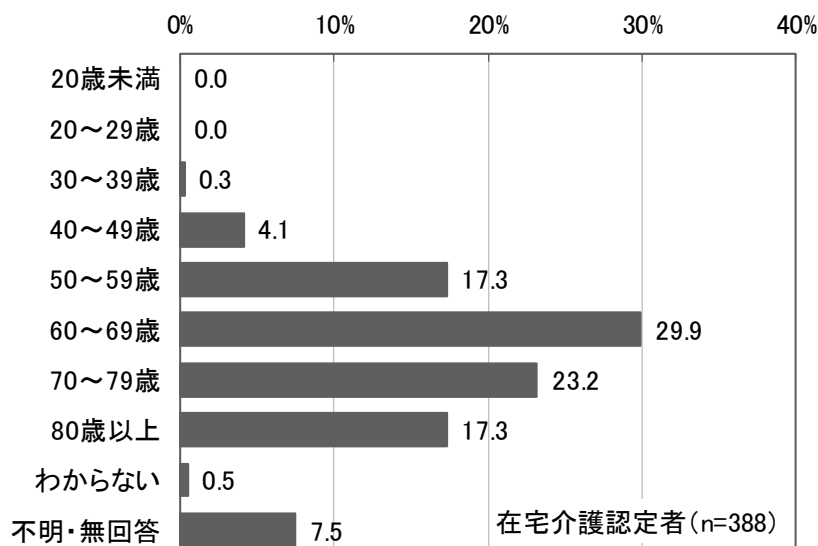
(16) 主な介護者の方の性別(単数回答)【問 21】

主な介護者の性別について、「男性」が33.0%、「女性」が58.2%となっています。



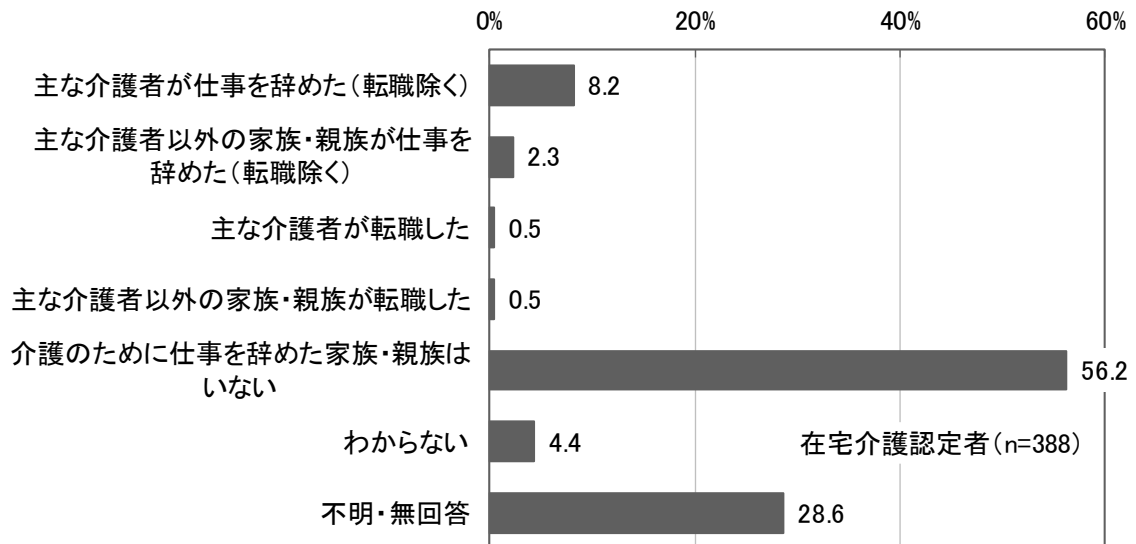
(17) 主な介護者の方の年齢(単数回答)【問 22】

主な介護者の年齢について、「60～69歳」が29.9%と最も高く、次いで「70～79歳」が23.2%となっています。



(18) 主な介護者の方が過去1年の間に仕事を辞めた、または転職した状況（複数回答）【問 24】

介護のために、過去1年の間に仕事を辞めた方・転職された方の状況について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が56.2%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が8.2%となっています。なお、介護のために主な介護者やそれ以外の家族・親族が仕事を辞めたり、転職した割合の合計は11.5%となっています。

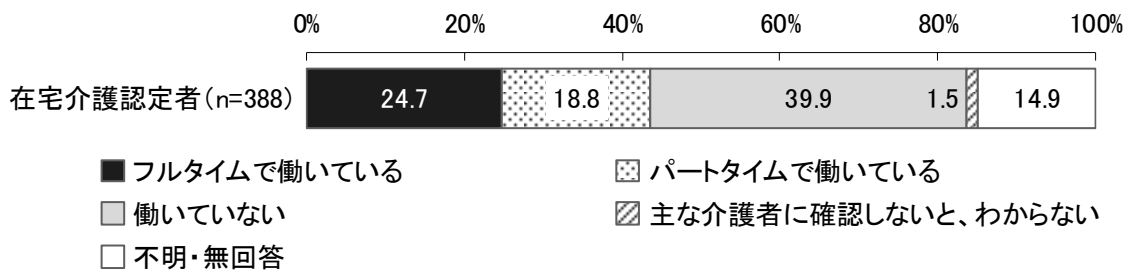


7 主な介護者の就労状況について

(19) 主な介護者の方の現在の勤務形態（単数回答）【問 25】

* 働いている方のみへの質問

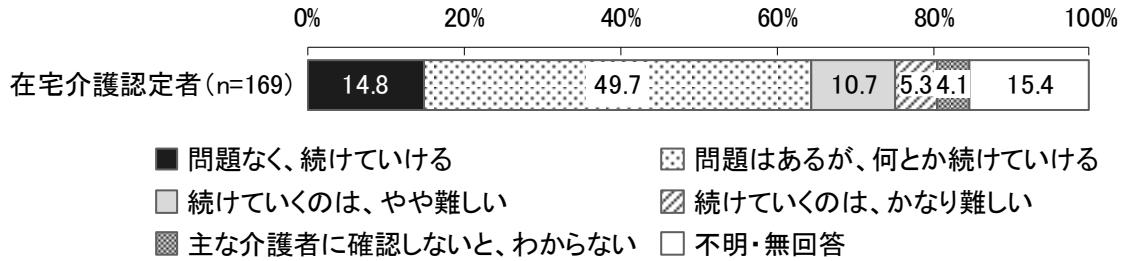
主な介護者の現在の勤務形態について、「働いていない」が39.9%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が24.7%となっており、フルタイム・パートタイムで働いている方は43.5%となっています。



(20) 主な介護者は今後も働きながら介護を継続できそうか（単数回答）【問 25-3】

- * 『続けていける』 …「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合算
- * 『続けていくのは難しい』 …「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合算

主な介護者は、今後も働きながら介護を続けていけそうかについて、『続けていける』が64.5%、『続けていくのは難しい』が16.0%となっています。



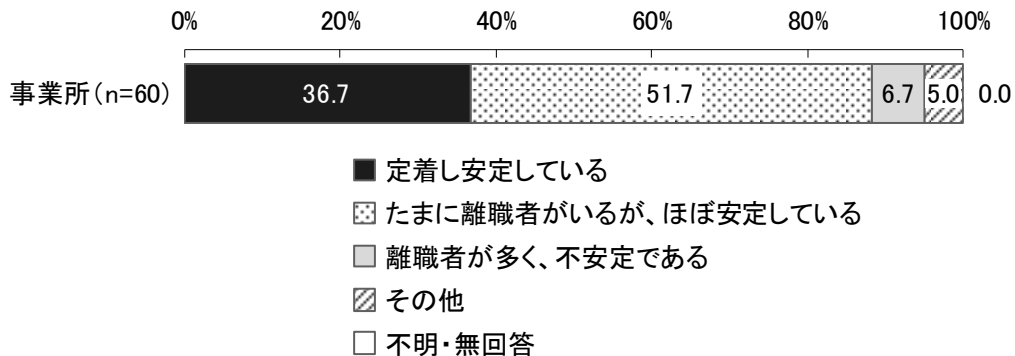
IV. 介護サービス提供事業者実態調査結果

1 事業運営について

(1) 職員の定着状況（単数回答）【問 19】

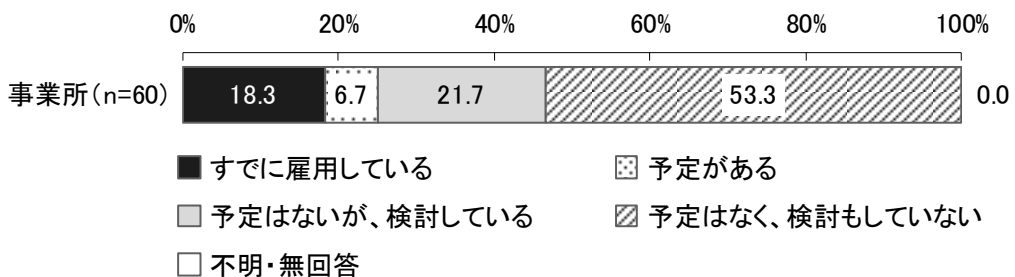
*『安定している』…「定着し安定している」と「たまに離職者がいるが、ほぼ安定している」を合算

職員の定着の状況について、「たまに離職者がいるが、ほぼ安定している」が 51.7%と最も高く、次いで「定着し安定している」が 36.7%となっており、『安定している』事業所は 88.4%となっています。



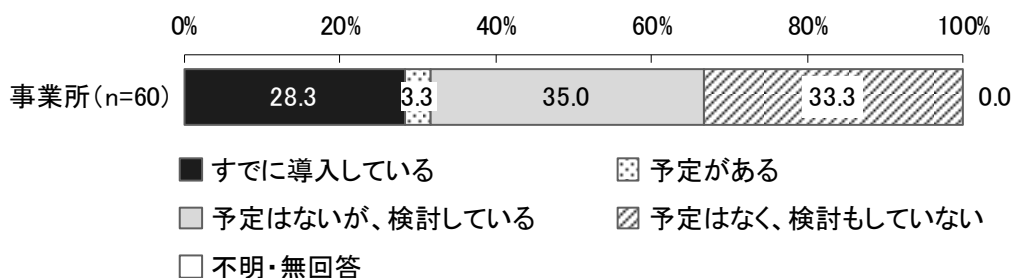
(2) 外国人従業員の雇用予定（単数回答）【問 22】

事業所で外国人従業員を雇う予定について、「予定はなく、検討もしていない」が 53.3%と最も高く、次いで「予定はないが、検討している」が 21.7%となっています。なお、「すでに雇用している」は 18.3%となっています。



(3) ICTやAI、ロボットなどを導入する予定（単数回答）【問 23】

事業所でICTやAI、ロボットなどを導入する予定について、「予定はないが、検討している」が 35.0%と最も高く、次いで「予定はなく、検討もしていない」が 33.3%となっています。なお、「すでに導入している」は 28.3%となっています。

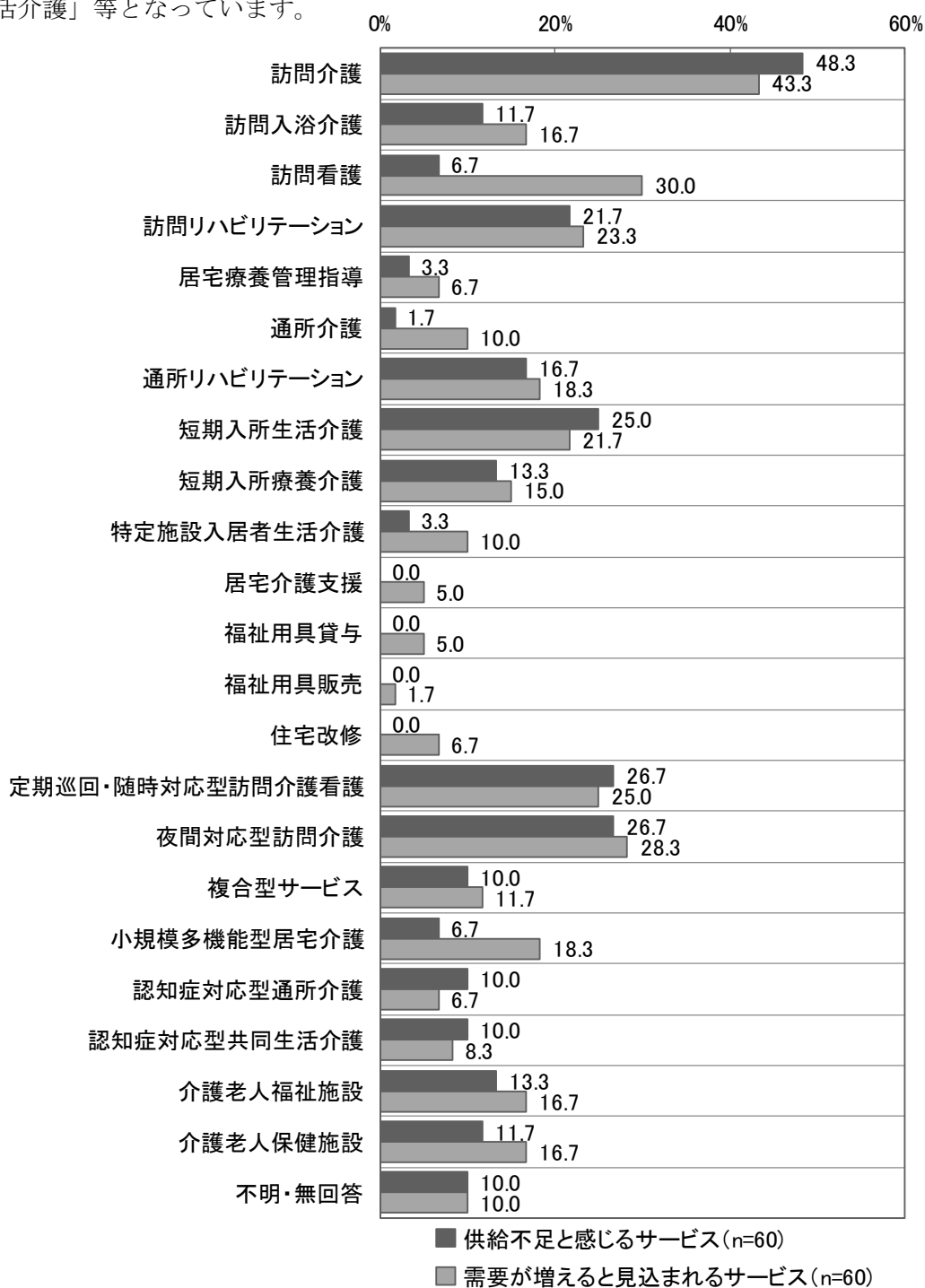


2 サービスについて

(4) 市内で供給が不足していると感じるサービス／今後需要が増えると思込まれるサービス(複数回答)【問25】

市内で供給が不足していると感じる介護サービスについて、「訪問介護」が48.3%と最も高く、次いで「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「夜間対応型訪問介護」がそれぞれ26.7%となっています。また、今後需要が増えると思込まれる介護サービスについて、「訪問介護」が43.3%と最も高く、次いで「訪問看護」が30.0%となっています。

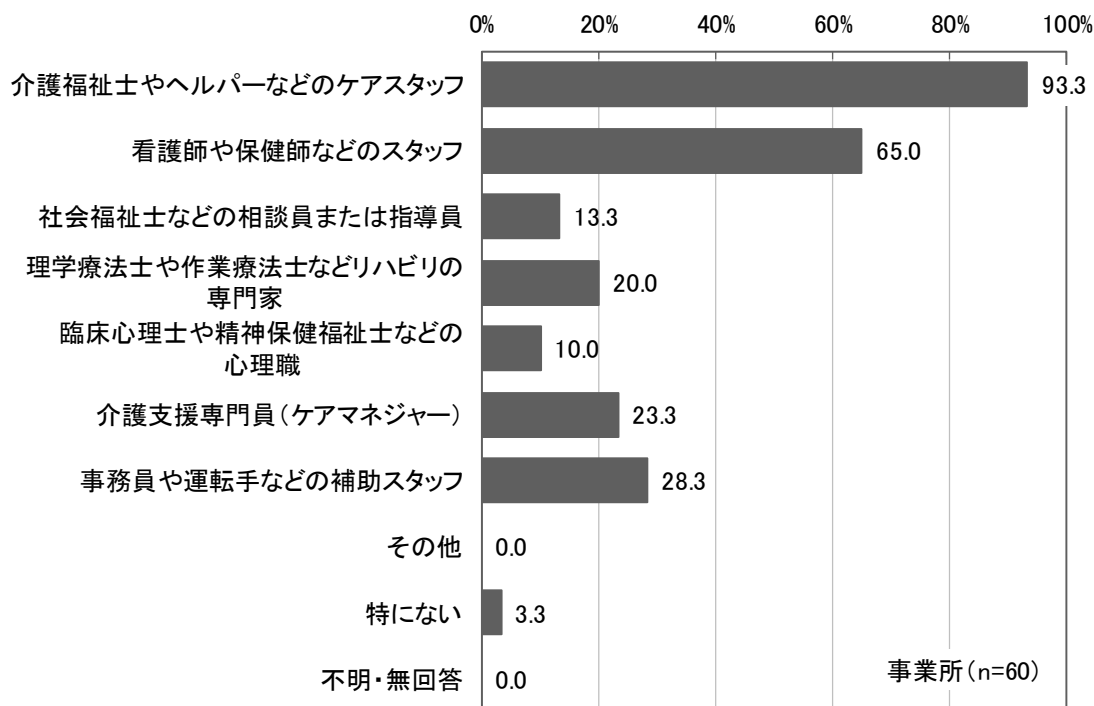
なお、『供給が不足しており、今後需要が増えると思込まれる介護サービス』は、「訪問介護」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「夜間対応型訪問介護」「訪問リハビリテーション」「短期入所生活介護」等となっています。



3 今後の介護サービスについて

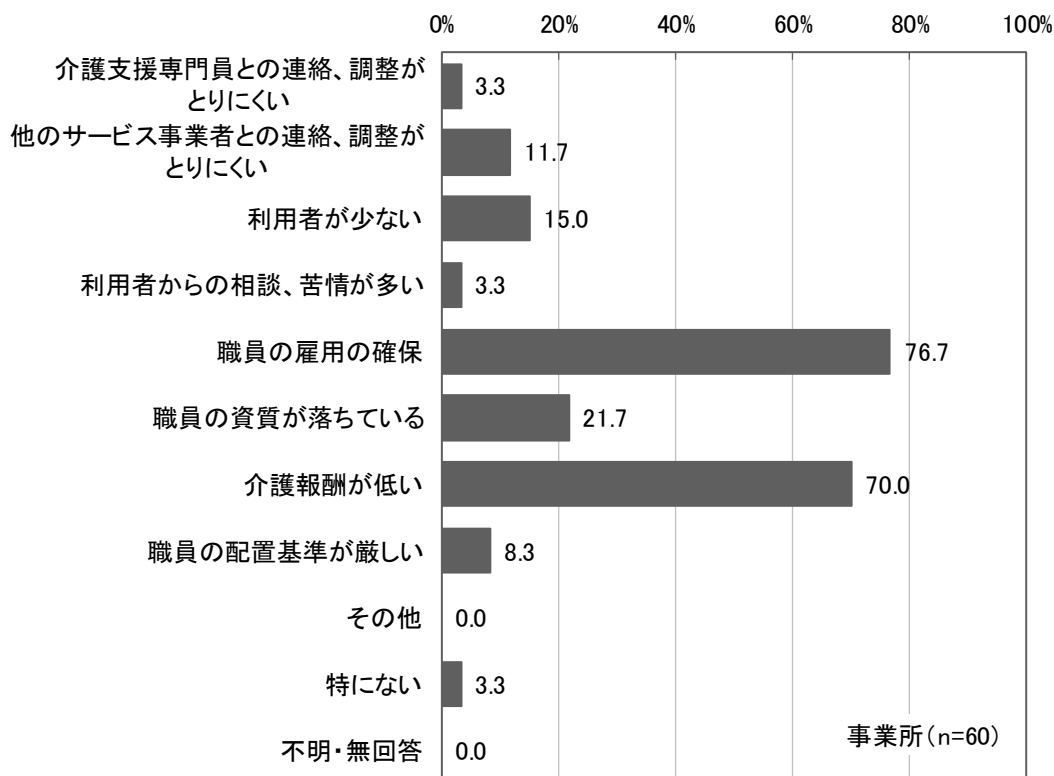
(5) 現在不足していると思われる人材の職種（複数回答）【問 33】

現在不足していると思われる人材の職種について、「介護福祉士やヘルパーなどのケアスタッフ」が 93.3%と最も高く、次いで「看護師や保健師などのスタッフ」が 65.0%となっています。



(6) 介護保険に関わる事業者として問題点と感じていること（複数回答）【問 34】

介護保険に関わる事業者として問題点と感じていることについて、「職員の雇用の確保」が 76.7%と最も高く、次いで「介護報酬が低い」が 70.0%となっています。

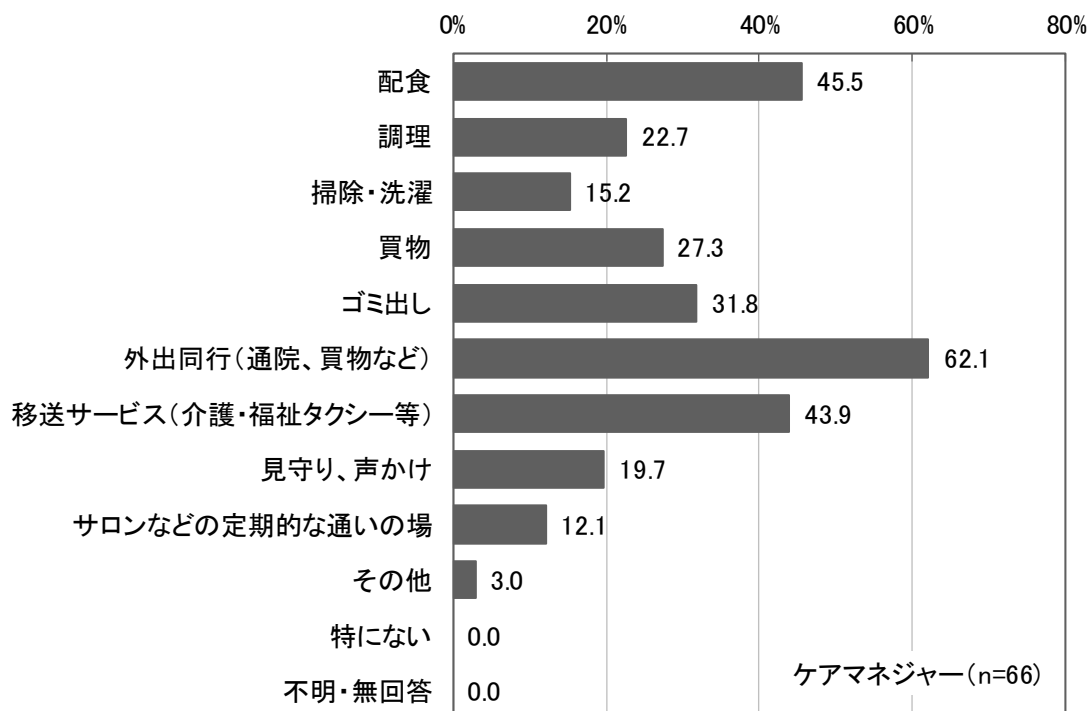


V. ケアマネジャー実態調査結果

1 サービスについて

(1) 高齢者の在宅生活の継続に必要だと感じる支援・サービス（複数回答）【問 22】

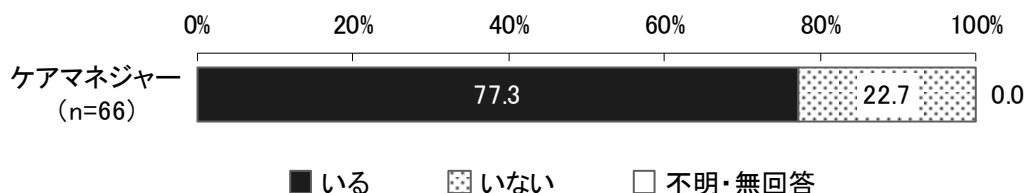
今後、高齢者の在宅生活の継続に必要だと感じる支援・サービスについて、「外出同行（通院、買物など）」が62.1%と最も高く、次いで「配食」が45.5%となっています。



2 在宅生活の継続について

(2) 生活の維持が困難な利用者の有無（単数回答）【問 23】

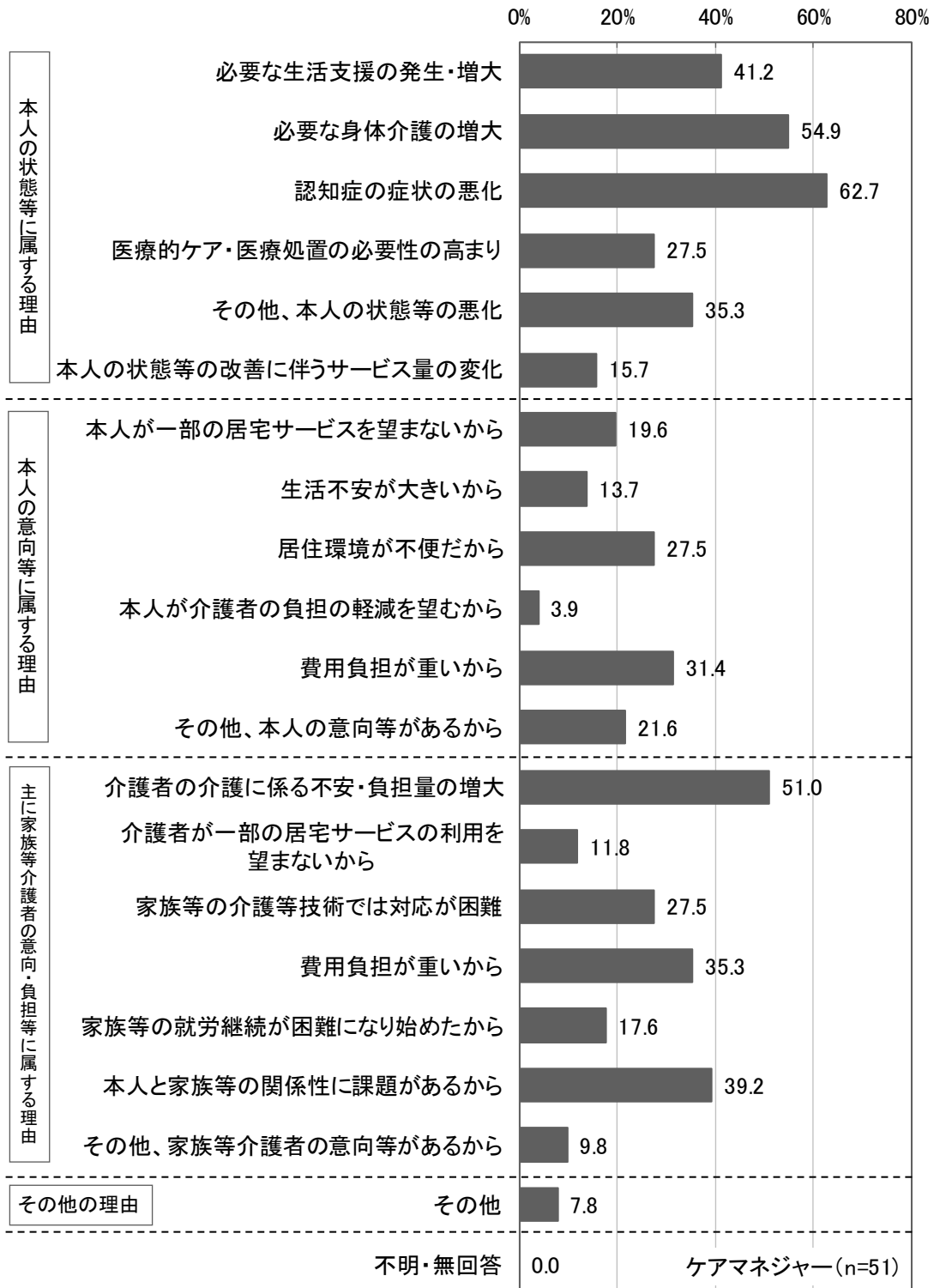
現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者の有無について、「いる」が77.3%、「いない」が22.7%となっています。



(3) 生活の維持が難しくなっている理由で多い内容（単数回答）【問 23-1】

* 現在のサービス利用では生活の維持が難しくなっている利用者がいる事業所のみへの質問

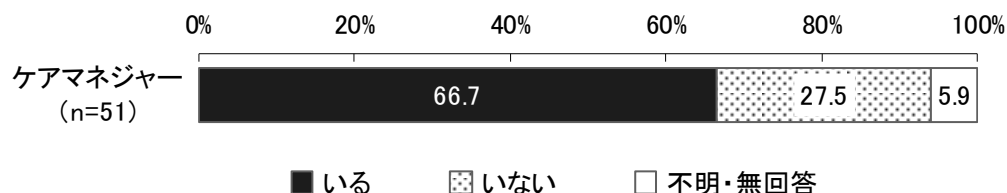
生活の維持が難しくなっている理由で多いものについて、「認知症の症状の悪化」が 62.7%と最も高く、次いで「必要な身体介護の増大」が 54.9%となっており、いずれも本人の状態等に属する理由となっています。



(4) 施設の入所・入居の緊急度が高いと思われる人の有無（単数回答）【問 23-2】

* 現在のサービス利用では生活の維持が難しくなっている利用者がある事業所のみへの質問

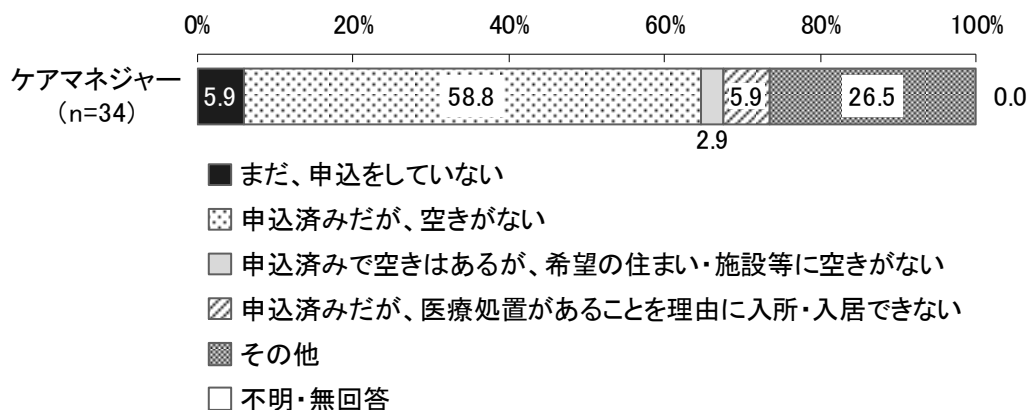
担当している利用者の中で、施設の入所・入居の緊急度が高いと思われる人の有無について、「いる」が66.7%、「いない」が27.5%となっています。



(5) 入所・入居できていない理由（単数回答）【問 23-3】

* 施設の入所・入居の緊急度が高いと思われる利用者がある事業所のみへの質問

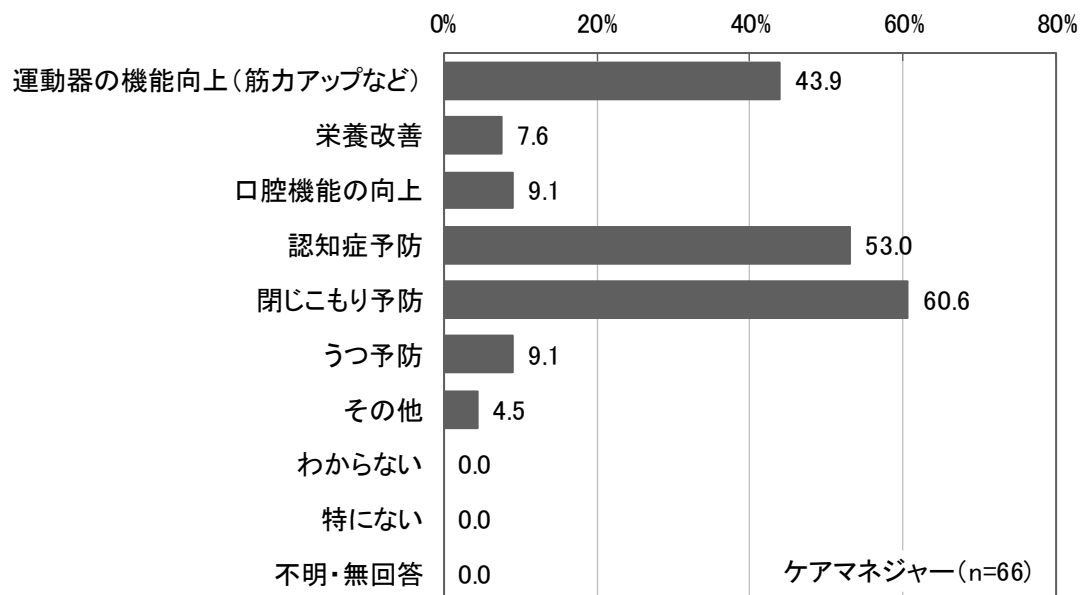
入所・入居できていない理由について、「申込みだが、空きがない」が58.8%と最も高く、次いで「その他」が26.5%となっています。



3 今後について

(6) 充実させるべきだと思う介護予防事業（複数回答）【問 26】

今後、充実させるべきだと思う介護予防事業について、「閉じこもり予防」が 60.6%と最も高く、次いで「認知症予防」が 53.0%となっています。



第9期恵那市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
策定のための実態調査報告書

【概要版】

発行 : 恵那市
編集 : 恵那市 医療福祉部 高齢福祉課
住所 : 〒509-7292 恵那市長島町正家一丁目1番地1
TEL (0573)26-2111 (代) FAX (0573)25-7294
発行年月 : 令和5年7月